

K250.64

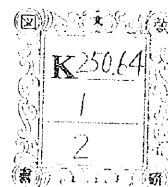
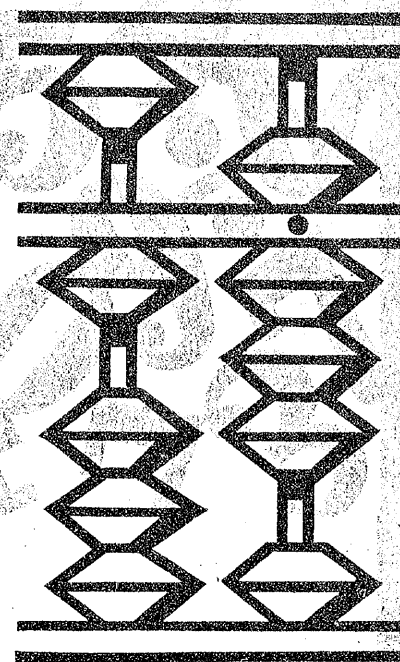
1

2

文部省著作教科書

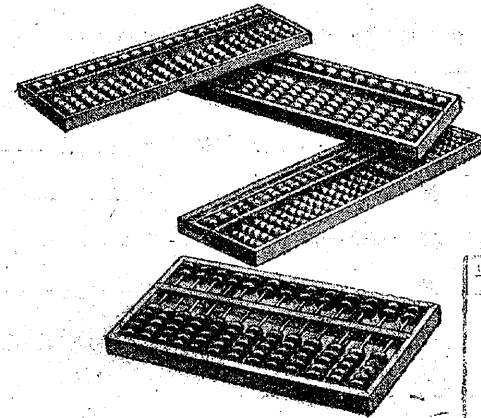
中学珠算

下

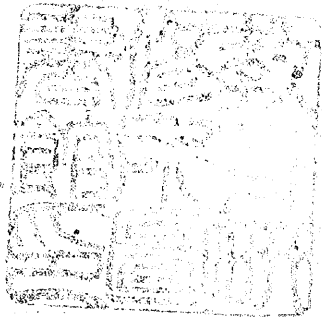


中学珠算

下



文部省教科書局
24
3月16日
110



目 録

1. 定 位 法	1
1. 乗法定位法	1
2. 除法定位法	11
3. 歩合・歩合高・元高の計算	19
4. 合計高・残高の計算	23
5. いろいろな計算	26
6. 指数の計算	29
7. 分 配 算	31
8. 食物のカロリーの計算	33
9. 主食消費量の計算	36
10. ガス料金の計算	40
11. 電燈料金の計算	42
12. いろいろな計算	46
2. 暗算法(乗法・除法)	49
3. 標準技能の測定(中級)	52
4. 諸等数(不十進)計算法	56
1. 諸等数命法	58
2. 諸等数通法	67
3. 諸等数加法および減法	76
4. 諸等数乘法および除法	81
5. 外國貨幣の計算	92
6. 期間の計算	104
7. 利息の計算	110
8. 郵便貯金利子の計算	125

9. 割引料の計算.....130
 10. 賣買損益の計算.....132
 5. 標準技能の測定(上級).....132

1. 定 位 法

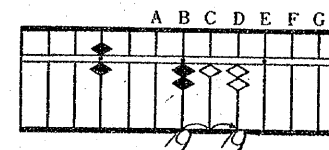
1. 乗法定位法

私たちは、いままでそろばんに数を置くとき、数の単位をそろばんの定位点に合わせて置いた。そして加法や減法の計算では、これに位を合わせて数を加え、または、これから数を引いたからその答も、はじめに数を置いたときのように、定位点によって答を記入した。

ところが乗法や除法の計算では、加法や減法のとくと違って、乗法は実の右に積をもとめ、除法は実の左に商をもとめるから、積や商の単位は、実の単位の右または左へ移るので、実の単位をそのまま答の単位にすることはできない。そこで乗法や除法では、計算する前に、積や商の単位は実の単位のどちらへどれだけ移るかということをしらべて、その単位を定め、そこを左手のひとさし指でついていて計算することが便利である。そうすれば答に端数があるようなときは、すぐにそろばんの上でこれ进行处理して、答を記入することができる。

島田君たちは、つぎの算例によって、積の単位が実の単位から、どのような法則によって移るのかをしらべてみることにした。

例 1. 2×6 の計算では、
 実の1位(Bけた)の右へ
 2けた目(Dけた)が、積の

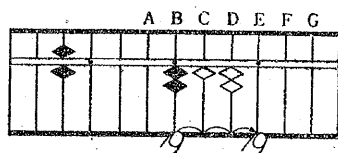


1 位になる。

つぎの計算をせよ。

- (1) 54×4 (2) 835×6
 (3) $2,061 \times 8$ (4) $7,518 \times 3.5$

例 2. 2×60 の計算では

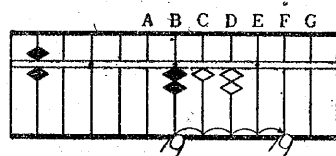


例 1 にくらべて法が 10 倍になっているから、積も 10 倍になる。だから積の 1 位は、例 1 のときの 1 けた右 E けたになる。

つぎの計算をせよ。

- (1) 63×80 (2) 315×64
 (3) 470×56 (4) 673×38.4

例 3. 2×600 の計算では



例 2 にくらべて法がさらに 10 倍になっているから、積も 10 倍になる。だから積の 1 位は、例 2 のときの

1 けた右 F けたになる。

つぎの計算をせよ。

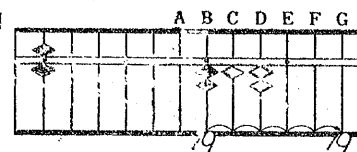
- (1) 63×450 (2) 28×761
 (3) 361×504 (4) 94×360.8

例 4. $2 \times 6,000$ の計算では

例 3 にくらべて法がさらに 10 倍になっているから、積も 10

倍になり、積の 1 位は、例

3 のときの 1 けた右 G けたになる。



つぎの計算をせよ。

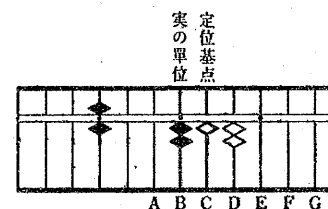
- (1) $4 \times 8,600$ (2) $32 \times 6,050$
 (3) $28 \times 4,185$ (4) $5 \times 7,193.4$

島田君たちは以上の算例をしらべてみて、乗法における積の単位 (1 位) は、法の整数部分のけた数より 1 けた多く実の単位の右へ移ることがわかった。

そこでいろいろ話し合った結果、つぎのようにすることがわかりよいと考えた。

それは実の単位の 1 けた右を基点として位取りするのであって、こうすれば、法の整数部分のけた数だけを標準にして、右へ移ったところを積の単位

にすればよい。この実の単位の 1 けた右を定位基点という。この方法で上の算例の位取りをすると、右のようになる。

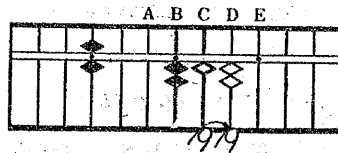


1. 2×6 の計算では、C けたの 1 けた右 D けたが、
2. 2×60 の計算では、C けたの 2 けた右 E けたが、
3. 2×600 の計算では、C けたの 3 けた右 F けたが、
4. $2 \times 6,000$ の計算では、C けたの 4 けた右 G けたが積の単位となる。

つぎの計算をせよ。

- | | |
|------------------------|------------------------|
| (1) 6.921×4 | (2) 4.068×73 |
| (3) 616×30.8 | (4) 27×41.82 |
| (5) 805×414 | (6) 536×27.6 |
| (7) 769×500.4 | (8) 18×615.27 |
| (9) 273×6.193 | (10) 9×5.7314 |

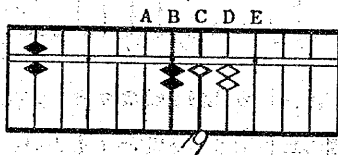
例5. 2×6 の計算では、まゝに学んだ定位法によって位取り



すると、実の1位(Bけた)の1けた右(Cけた)が定位基点、法の整数部分のけた数は、1けた、したがって

Cけたの1けた右(Dけた)が積の単位になる。

例6. 2×0.6 の計算では、例5にくらべて法が10分の



1になっているから、積も10分の1になる。だから積の単位は例5のときの1けた左(Cけた)すなわち

定位基点Cけたがそのまま積の単位になる。

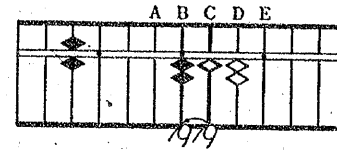
つぎの計算をせよ。

- | | |
|------------------------|------------------------|
| (1) 5×0.636 | (2) 73×0.384 |
| (3) 606×0.173 | (4) 51×0.4031 |

例7. 2×0.06 の計算では、例6にくらべて法がさらに10分の1になっているから、積も10分の1になる。だから積の単位は、定位基点Cけたの1けた左Bけたである。この

ように法が小数の場合は、

小数点以下にある零の数だけ、定位基点の左へ移ったけたが積の単位になる。



つぎの計算をせよ。

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| (1) 63×0.053 | (2) 8×0.0473 |
| (3) 48×0.072 | (4) 9×0.0516 |
| (5) 27×0.0309 | (6) 617×0.0502 |
| (7) 52×0.0608 | (8) 375×0.0469 |

例8. 2×0.006 の計算では、例6にくらべて、法がさらに

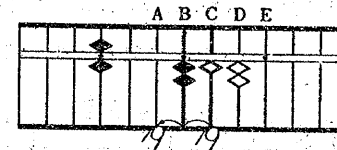
10分の1になっている

から、積も10分の1になる。

だから例6のときの1

けた左Aけたが積の単位に

なる。これを法の小数点以下にある零の数2けただけ、定位基点の左へ移ったAけたが、積の単位になると定めてよい。

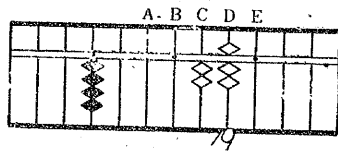
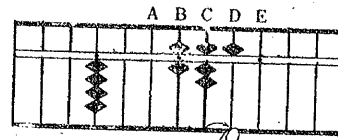


つぎの計算をせよ。

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| (1) 5×0.0073 | (2) 63×0.0041 |
| (3) 83×0.00603 | (4) 42×0.00056 |

今までに学んだ乗法の定位法では、実がいずれも整数であっても、これらの場合はその単位の1けた右のけたを定位基点として位取りをしたが、このことは実が小数・帯小数または名数の場合でも同様である。

例 9. (イ) 6.75×4 , (ロ) $\cancel{6}.75 \times 4$ の計算では、いずれも



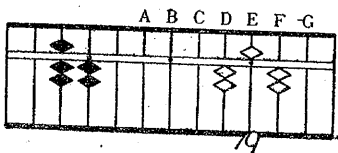
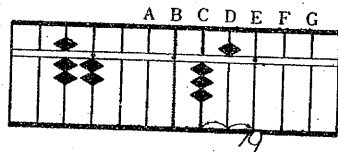
6の置いてあるAけたが実の単位で、その1けた右のBけたが定位基点になる。それからは前に学んだようにして位取りをすればよい。

(ロ)の計算では、実の四位を単位として位取りしたのであるから、定位しているところは、積の単位を示すことになる。

つぎの計算をせよ。

- (1) 7.38×6.5 (2) $\cancel{6}.48 \times 0.875$
 (3) 6.103×38 (4) $\cancel{58}.00 \times 0.045$

例 10. (イ) 0.35×72 , (ロ) $\cancel{0}.35 \times 72$ の計算では、いず



れもBけたを実の単位として布数したのであるから、Cけたを定位基点として位取りをすればよい。

つぎの計算をせよ。

- (1) 0.63×4.58
 (2) $\cancel{0}.45 \times 61.8$
 (3) 0.081×0.56
 (4) $\cancel{0}.92 \times 360.5$

島田君たちは、まえに学んだ乗法の定位法を、つぎのような表にまとめた。

実 法	53. 0.415 26.17	実 法
6.000		3.806
6.00		2.49
6.0		6.37
6		5.04
0.6		0.806
0.06		0.0153
0.006		0.0038
0.0006		0.0005

〔注〕 ----- 線は実の単位を、—— 線は定位基点を示す。

乗 法 問 題

不名数は小数第2位未満、名数は銭位未満を四捨五入せよ。

- (1) $276 \times 0.83 =$ _____
 (2) $0.914 \times 52 =$ _____
 (3) $\cancel{0}.83 \times 16.7 =$ _____
 (4) $57 \times 4.09 =$ _____
 (5) $\cancel{42}.60 \times 0.038 =$ _____
 (6) $9.381 \times 0.0051 =$ _____
 (7) $0.075 \times 4.62 =$ _____
 (8) $\cancel{6}.94 \times 370 =$ _____

乗法問題

不名数は小数第2位未満、名数は銭位未満を四捨五入せよ。

(1)	694×0.51	=	
(2)	0.809×74	=	
(3)	$\yen 0.51 \times 27.9$	=	
(4)	36×1.03	=	
(5)	$\yen 13.70 \times 0.096$	=	
(6)	3.125×0.0032	=	
(7)	0.043×9.62	=	
(8)	$\yen 4.82 \times 210$	=	
(9)	65×3.485	=	
(10)	$\yen 0.17 \times 5.037$	=	

加減法問題

番号	1	2	3	計
1	3 95	710 45	16 08	
2	72 56	40 81	8 14	
3	30 41	2 92	-464 42	
4	7 72	- 75 36	147 52	
5	26 39	8 09	-809 87	
6	65 24	604 33	3 39	
7	37 48	386 42	25 75	
8	6 10	- 25 18	- 8 23	
9	80 82	89 70	2 09	
10	30 48	24 17	86 61	
計				

暗算問題

番号	1	2	3	4	5
1	$\yen .74$	$\yen .59$	$\yen .42$	$\yen .36$	$\yen .40$
2	.83	.26	.18	.72	.15
3	-.90	-.10	.96	-.43	-.36
4	-.62	.83	-.70	-.15	.60
5	.25	-.98	-.35	.80	-.74
計					
番号	6	7	8	9	10
1	$\yen 56$	$\yen 63$	$\yen 76$	$\yen 16$	$\yen 98$
2	-10	-54	30	93	-43
3	94	80	-81	-58	-50
4	-27	-39	45	-47	76
5	-83	26	19	20	-21
計					

乗法問題 答は銭位未満を四捨五入せよ。

(1)	$\yen 24.75 \times 68$	=	
(2)	$\yen 9.18 \times 371$	=	
(3)	$\yen 36.40 \times 0.549$	=	
(4)	$\yen 725.00 \times 0.027$	=	
(5)	$\yen 8.39 \times 13.6$	=	
(6)	$\yen 54.27 \times 9.48$	=	
(7)	$\yen 816.30 \times 0.0025$	=	
(8)	$\yen 97.56 \times 0.384$	=	

加減法問題

番号	1		2		3		計	
1	10	08	7	92	305	83		
2	3	27	534	14	90	65		
3	6	28	92	59	3	30		
4	15	82	249	66	29	87		
5	79	36	1	91	634	05		
6	64	72	4	85	8	14		
計								

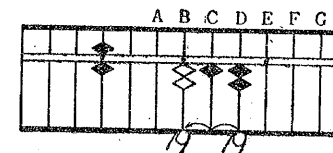
番号	4		5		6		計	
1	3	28	15	45	8	70		
2	8	95	9	60	340	91		
3	5	26	937	41	6	58		
4	71	65	28	46	20	79		
5	6	04	3	72	686	04		
6	5	29	705	99	4	19		
7	14	38	6	13	901	37		
8	68	91	896	84	59	15		
9	4	65	30	31	6	32		
10	32	07	69	15	17	80		
11	6	30	582	71	273	98		
12	56	72	1	90	86	23		
計								

2. 除法定位法

青山君たちは、こんどは除法における商の単位の定め方について、乗法の定位法から考えてみた。そして除法は乗法の反対であるから、定位法もその反対になることがわかった。われわれもやってみよう。

例 1. $12 \div 6$ の計算で

は、実の 1 位(D けた)の左へ 2 けた目(B けた)が商の 1 位になる。

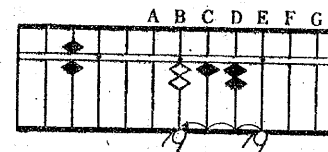


つぎの計算をせよ。

- (1) $304 \div 4$ (2) $2,737 \div 7$
 (3) $1,116 \div 3$ (4) $306 \div 6.8$

例 2. $120 \div 60$ の計算では、例 1 にくらべて法が 10 倍であるから商は 10 分の 1 になる。

したがって、商の 1 位は例 1 のときより 1 けた多く左へ移る。すなわち



実の 1 位(E けた)の左へ 3 けた目(B けた)が商の 1 位になる。

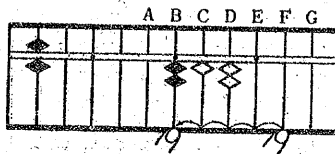
つぎの計算をせよ。

- (1) $1,720 \div 40$ (2) $1,750 \div 50$
 (3) $3,551 \div 53$ (4) $1,924 \div 74$
 (5) $4,898 \div 62$ (6) $2,225 \div 89$
 (7) $612 \div 81.6$ (8) $180 \div 37.5$

(9) $27.2 \div 42.5$

(10) $474 \div 63.2$

例3. $1,200 \div 600$ の計算では、例2にくらべて、法が10



倍になっているから、商はその10分の1になる。したがって商の1位は例2のときより1けた多く左へ

移る。すなわち実の1位 (Fけた) の左へ4けた目 (Bけた) が商の1位になる。

つぎの計算をせよ。

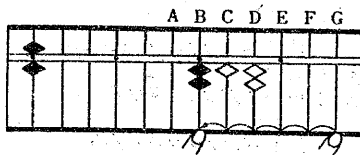
(1) $2,520 \div 630$

(2) $23,712 \div 741$

(3) $30,450 \div 406$

(4) $33,046 \div 508.4$

例4. $12,000 \div 6,000$ の計算では、例3にくらべて法が



10倍になっているから、商はその10分の1になる。したがって商の1位は例3のときより1けた多く左へ

移る。すなわち実の1位 (Gけた) の左へ5けた目 (Bけた) が商の1位になる。

つぎの計算をせよ。

(1) $85,200 \div 7,100$

(2) $22,864 \div 5,716$

(3) $47,698 \div 6,814$

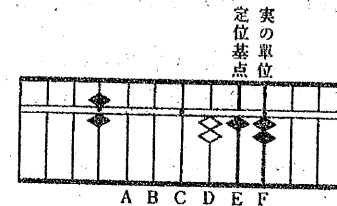
(4) $28,899 \div 4,816.5$

以上の算例によって、除法における商の単位 (1位) は、法の整数部分のけた数より1けた多く実の単位の左へ移ることがわかる。そこで除法では実の単位の1けた左を基点として、法

の整数部分のけた数だけ左へ移ったところを商の単位にすることがわかりよい。

この方法で、まゑの算例

について位取りをすると、つぎのようになる。ここではどの算例も実の単位をFけたに一定してみよう。



1. $12 \div 6$ の計算では、Eけたの1けた左Dけたが
2. $120 \div 60$ の計算では、Eけたの2けた左Cけたが
3. $1,200 \div 600$ の計算では、Eけたの3けた左Bけたが
4. $12,000 \div 6,000$ の計算では、Eけたの4けた左Aけたが商の単位になる。

つぎの計算をせよ。

(1) $2,208 \div 6$

(2) $324 \div 7.2$

(3) $4,539 \div 53.4$

(4) $1,836 \div 40.8$

(5) $23,817 \div 467$

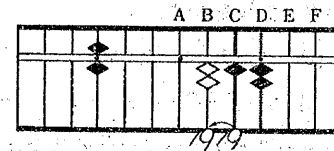
(6) $2,598 \div 519.6$

(7) $66,104 \div 8,263$

(8) $20,689 \div 4,137.8$

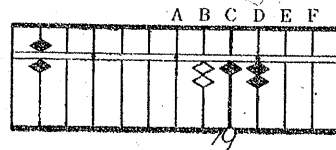
例5. $12 \div 6$ の計算では、上に学んだ定位法によって位取りすると、実の1位 (Dけた)

の1けた左 (Cけた) が定位基点、法の整数部分のけた数は1けた、したがって



Cけたの1けた左 (Bけた) が商の単位になる。

例 6. $12 \div 0.6$ の計算では、例 5 にくらべて法が 10 分の



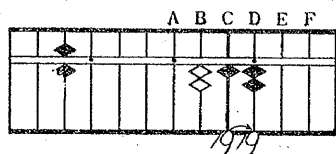
1 になっているから、商は 10 倍になる。したがって商の単位は例 5 のときの 1 けた右 (C けた) すなわち

定位基点 C けたがそのまま商の単位になる。

つぎの計算をせよ。

- (1) $368 \div 0.8$ (2) $102 \div 0.68$
(3) $5.457 \div 0.642$ (4) $17.745 \div 0.507$

例 7. $12 \div 0.06$ の計算では、例 6 にくらべて法が 10 分の



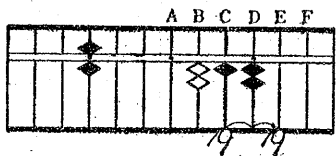
1 になっているから、商は 10 倍になる。したがって商の単位は例 6 のときの 1 けた右 (D けた) が商の単位

になる。このように法が小数の場合には、小数点以下にある零の数だけ、定位基点の右へ移ったけたが商の単位になる。

つぎの計算をせよ。

- (1) $81 \div 0.03$ (2) $714 \div 0.085$
(3) $4.901 \div 0.0754$ (4) $1.545 \div 0.0206$

例 8. $12 \div 0.006$ の計算では、例 7 にくらべて、法が



さらに 10 分の 1 になっているから、商は 10 倍になる。したがって商の単位は例 7 のときの 1 けた右 (E

けた) が商の単位になる。これを法の小数点以下にある零の数 2 けただけ、定位基点の右へ移った E けたが商の単位になると定めてよい。

つぎの計算をせよ。

- (1) $108 \div 0.009$ (2) $465 \div 0.0062$
(3) $255 \div 0.00375$ (4) $2.821 \div 0.00806$

今までに学んだ除法の定位法では、実がいずれも整数であって、これらの場合はその単位の 1 けた左のけたを定位基点として位取りをしたが、このことは実が小数・帯小数または名数の場合でも同様である。

つぎの計算をせよ。

- (1) $29.40 \div 0.84$ (2) $34.44 \div 0.056$
(3) $0.12 \div 0.006$ (4) $0.20 \div 0.25$

島田君たちは、上に学んだ除法の定位法を、乗法のときのようにこれを表にまとめた。

法	実	法	実
	53. 0.415 26.17		
6.000	○	3.806	
6.00	○	2.49	
6.0	○	6.3.7	
6	○	5.04	
0.6	○	0.806	
0.06	○	0.0153	
0.006	○	0.0038	
0.0006	○	0.0005	

「注」-----線は実の単位、——線は定位基点を示す。

除 法 問 題

不名数は小数第2位未満，名数は銭位未満を四捨五入せよ。

(1)	$\yen 21.25 \div 0.25$	=	
(2)	$11,316 \div 276$	=	
(3)	$9.313 \div 13.9$	=	
(4)	$\yen 6.87 \div 31$	=	
(5)	$\yen 39.99 \div 930$	=	
(6)	$348 \div 0.0696$	=	
(7)	$78.2198 \div 82$	=	
(8)	$327.341 \div 707$	=	
(9)	$\yen 920.72 \div 6.8$	=	
(10)	$614,952 \div 8,541$	=	

加 減 法 問 題

番号	1	2	3	計
1	5 86	6 46	7 92	
2	40 58	1 42		716 68
3	2 34		410 21	428 45
4	208 27	198 01		416 13
5		9 27	90 58	797 47
6	1 62	32 73	763 12	
7	23 73		36 67	63 92
8		67 57	3 70	827 46
9	9 90	52 63	81 23	
10		307 14	450 49	910 68
計				

暗 算 問 題

番号	1	2	3	4	5
1	$\yen .58$	$\yen .74$	$\yen .79$	$\yen .51$	$\yen .40$
2	.24	.18	.36	.83	.67
3	.70	.65	-.10	-.29	.38
4	.16	.23	.63	.70	.52
5	.37	.90	-.25	-.45	.13
計					
番号	6	7	8	9	10
1	$\yen 14$	$\yen 39$	$\yen 51$	$\yen 73$	$\yen 32$
2	20	41	48	48	74
3	86	27	-62	95	59
4	37	50	59	60	-80
5	29	48	-73	39	-16
計					

除 法 問 題 答は銭位未満を四捨五入せよ。

(1)	$\yen 438.96 \div 70.8$	=	
(2)	$\yen 382.05 \div 849$	=	
(3)	$\yen 55.77 \div 0.0572$	=	
(4)	$\yen 0.12 \div 0.171$	=	
(5)	$\yen 429.66 \div 0.00693$	=	
(6)	$\yen 523.16 \div 9.02$	=	
(7)	$\yen 0.16 \div 0.00758$	=	
(8)	$\yen 91.26 \div 234$	=	

加減法問題

番号	1		2		3		計	
1	3	30	5	64	83	16		
2	60	95	219	86	48	69		
3	8	53	83	41	713	30		
4	5	84	9	25	51	96		
5	1	91	364	06	8	63		
6	96	46	51	75	937	28		
計								

番号	4		5		6		計	
1	52	93	6	25	91	10		
2	41	45	148	20	2	42		
3	9	70	3	28	680	07		
4	27	46	4	81	49	28		
5	63	97	50	43	7	40		
6	28	51	578	92	730	64		
7	8	26	1	54	31	81		
8	2	37	490	69	53	85		
9	80	10	14	73	901	56		
10	72	65	6	82	6	19		
11	6	03	627	39	79	74		
12	32	70	59	07	395	14		
計								

3. 歩合・歩合高・元高の計算

青山君たちの学校では、先ごろ生徒に行ったツベルクリン反応の結果を調査したところ、注射を受けた者625名のうち、陰性の者が250名であった。陽性の者は何名か。

また陰性であった者と陽性であった者の、注射を受けた者に対する比の値はおののどのくらいか。

歩合算ではこの比の値を歩合といい、通例、何割何分何厘または「パーセント」などの名称で唱える。

つぎの歩合を通常的小数で表わしてみよ。また「パーセント」でも表わしてみよ。

2割 3割5分 1分2厘 14割

つぎの歩合を通常的小数で表わしてみよ。

12% 8.3% 165% 0.5%

歩合算では、上の場合の注射を受けた者の総数を元高といい、陰性であった者の人数または陽性であった者の人数を歩合高という。

いま注射を受けた者が625名で、その8割が陰性であったとしたら、その人数はいくらか。また陽性の者は125名で、これは注射を受けた者の2割にあたるという。注射を受けた人数はいくらか。

上の計算によって歩合算の公式をつくってみよ。

歩 合 =

歩 合 高 =

元 高 =

歩合算において、歩合を掛けまたは歩合で割るときには、これを通常的小数になおして位取りをする。

つぎの計算をせよ。

元 高	歩 合	歩合高
(1) ￥ 628	3割5分	_____
(2) ￥ 715	7 "	_____
(3) ￥ 493	24 %	_____
(4) ￥ 384	6 "	_____
(5) ￥ 856	$8\frac{3}{4}$ "	_____

歩合高	元 高	歩 合
(6) ￥ 91.35	￥ 609	割 分
(7) ￥ 19.32	￥ 483	"
(8) ￥ 29.81	￥ 271	%
(9) ￥ 24.36	￥ 348	"
(10) ￥ 46.54	￥ 716	"

歩合高	歩 合	元 高
(11) ￥ 58.86	6 分	_____
(12) ￥ 86.10	1割4分	_____
(13) ￥ 21.24	3 %	_____
(14) ￥ 34.20	45 "	_____
(15) ￥ 13.91	$3\frac{1}{4}$ "	_____

定價 ￥ 300 の品を定價の八掛半 (8割5分) で買ったといふ。いくらで買ったか。

暗 算 問 題

番号	1	2	3	4	5
1	15.	32.	46.	71.	96.
2	42.	78.	64.	89.	64.
3	53.	45.	18.	45.	15.
4	27.	53.	32.	63.	34.
5	73.	12.	47.	42.	51.
計					

加 減 法 問 題

番号	A	B	C	計
1	45 13	25 81	243 65	
2	86 26	6 32	31 23	
3	9 35	179 96	85 69	
4	90 41	43 05	1 79	
5	8 27	64 81	864 20	
6	27 09	532 71	8 07	
7	10 89	7 00	19 80	
8	62 40	9 82	618 41	
9	3 18	364 93	2 03	
10	5 52	41 05	103 42	
11	64 73	796 85	5 76	
12	7 64	4 27	95 47	
計				

乗法問題

答は銭位未満を四捨五入せよ。

- (1) ￥ 475. × 6.49 = _____
 (2) ￥ 967. × 0.316 = _____
 (3) ￥ 589. × 958 = _____
 (4) ￥ 285. × 0.00791 = _____
 (5) ￥ 324. × 0.0715 = _____
 (6) ￥ 903. × 60.3 = _____
 (7) ￥ 720. × 0.0402 = _____
 (8) ￥ 483. × 0.507 = _____
 (9) ￥ 621. × 0.00347 = _____
 (10) ￥ 519. × 503 = _____

除法問題

答は銭位未満を四捨五入せよ。

- (1) ￥ 586.80 ÷ 7.2 = _____
 (2) ￥ 265.35 ÷ 0.087 = _____
 (3) ￥ 894.74 ÷ 913 = _____
 (4) ￥ 2.84 ÷ 0.558 = _____
 (5) ￥ 1,084.86 ÷ 41 = _____
 (6) ￥ 231.24 ÷ 0.235 = _____
 (7) ￥ 205.25 ÷ 76.2 = _____
 (8) ￥ 453.01 ÷ 0.0089 = _____
 (9) ￥ 7,471.86 ÷ 432.9 = _____
 (10) ￥ 331.89 ÷ 0.069 = _____

4. 合計高・残高の計算

歩合算では、元高と歩合高との和を合計高といい、元高より歩合高を引き去った残りを残高という。

(1) 原価 ￥375 の商品を買入れ、原価の 15% の利益を得て賣るには、正札を何ほどにつけたらよいか。

(2) 大野君の家のここの麦の収穫高は 4,770 kg であった。これはきょねんの収穫高より 6% の増収にあたるという。きょねんの収穫高はいくらか。

(3) ある商品の定価は ￥486 である。これを 5% 引で賣るとき、その賣價はいくらか。

(4) ある人がその借金の 65% を返したのに、なお ￥2,240 借金が残っていた。借金の全額は何ほどであったか。

上の計算によって歩合算の公式をつくってみよ。

(1) 合計高 =

(2) 元 高 =

(3) 残 高 =

(4) 元 高 =

つぎの計算をせよ。

元 高	歩 合	合 計 高
(1) ￥ 726	$3\frac{1}{2}\%$	_____
(2) ￥ 492	15 "	_____
(3) _____	21 "	￥ 428.34
(4) _____	$8\frac{1}{2}$ "	￥ 268.88
(5) ￥ 915	_____	￥ 1,061.40

	元 高	歩 合	残 高
(6)	¥ 176	$4\frac{1}{2}\%$	
(7)	¥ 245	12 "	
(8)		23 "	¥ 706.86
(9)		$6\frac{2}{5}\%$	¥ 341.64
(10)	¥ 794		¥ 674.90

加 減 法 問 題

つぎの未知数をもとめよ。

番号	1	2	3	計
1	¥ 109 46	¥	¥ 47 90	¥ 160 43
2	8 20	82 38	8 87	
3		48 94	708 24	1,294 90
4	78 41	321 10		393 46
5		70 53	31 50	45 96
6	66 80	613 62	876 34	
7	13 73		9 12	
8	940 83	-59 79		1,587 29
9	96 79	240 35	74 12	
10	30 82	964 78		964 42
11	6 74		619 56	646 98
12		-6 12	87 04	909 46
計		2,291 40		

暗 算 問 題

番号	1	2	3	4	5
1	¥ .75	¥ .83	¥ .61	¥ .20	¥ .68
2	.60	.16	.50	.46	-.53
3	-.28	-.94	.13	.94	.45
4	-.57	.48	-.83	-.58	.94
5	.34	.57	-.27	-.42	.36
計					

乗 法 問 題

答は銭位未満を四捨五入せよ。

- (1) ¥ 309. × 0.0505 = _____
- (2) ¥ 485. × 791 = _____
- (3) ¥ 863. × 0.286 = _____
- (4) ¥ 107. × 0.00875 = _____
- (5) ¥ 924. × 20.4 = _____
- (6) ¥ 536. × 938 = _____

除 法 問 題

答は銭位未満を四捨五入せよ。

- (1) ¥ 35.36 ÷ 18 = _____
- (2) ¥ 4.52 ÷ 0.472 = _____
- (3) ¥ 4.44 ÷ 0.0096 = _____
- (4) ¥ 9.80 ÷ 19.02 = _____
- (5) ¥ 1,084.96 ÷ 7.749 = _____
- (6) ¥ 537.21 ÷ 84.6 = _____

5. いろいろな計算

(1) 丸山君の学校の購買部は ¥9,650 の資金を借り受け、1 年間に ¥482.50 の剰余金を得た。この剰余金は資金のいく割にあたっているか。

(2) ある商品を原価の12%の利益で売りさばき、利益金 ¥108 を得たという。その商品の原価はいくらか。

(3) 原価 ¥750 の品物を売りさばき 2.5% の損をした。損金高は何ほどか。

(4) ¥925 で買入れた商品を、買値の 6% にあたる利益をみて賣るには、賣値はいくらにしたらいいか。

(5) ある年のわが國の米の收穫高は 58,750,000 石で、これを前年度にくらべると 6% の増收にあたるといふ。前年の米の收穫高はいくらか (1 万石未満は四捨五入すること)。

(6) 定價 ¥185 の商品を、定價の 4% 引で買うとき、いくら支拂ったらいいか。

(7) ¥253 であった商品が ¥231 に下落した。何割の下落であるか (毛位未満を四捨五入すること)。

暗算問題

番号	元 高	歩 合	歩合高	番号	元 高	歩 合	歩合高
1	¥100	10%		6	¥500	20%	
2	¥200	1"		7	¥600	2"	
3	¥30	10"		8	¥70	20"	
4	¥40	1"		9	¥80	2"	
5	¥350	20"		10	¥750	40"	

加減法問題

番号	A		B		C		計	
1	49	61	6	38	91	89		
2	82	52	71	50	5	97		
3	30	86	85	14	80	02		
4	81	54	3	03	163	63		
5	94	98	484	21	9	14		
6	41	57	320	40	464	71		
7	14	03	4	29	71	13		
8	52	50	71	83	87	21		
9	85	69	6	42	579	52		
10	40	76	921	72	2	40		
11	34	20	73	91	3	25		
12	10	59	137	65	80	48		
13	25	37	6	59	20	75		
14	72	90	650	02	230	96		
15	72	78	60	90	695	65		
16	93	47	81	82	84	18		
17	61	61	98	79	342	06		
18	78	02	595	53	95	70		
19	33	89	64	76	3	83		
20	66	13	8	47	6	74		
計								

乗法問題

- (1) $\yen 3,280 \times 1.48 =$ _____
- (2) $\yen 571 \times 7.15 =$ _____
- (3) $\yen 69,320 \times 0.0965 =$ _____
- (4) $\yen 36,980 \times 0.195 =$ _____
- (5) $\yen 195 \times 3.62 =$ _____
- (6) $\yen 4,625 \times 7.24 =$ _____
- (7) $\yen 53,800 \times 0.0028 =$ _____
- (8) $\yen 915 \times 0.634 =$ _____
- (9) $\yen 2,880 \times 0.0435 =$ _____
- (10) $\yen 5,986 \times 8.79 =$ _____

除法問題 答は銭位未満を四捨五入せよ。

- (1) $\yen 1,164.45 \div 0.035 =$ _____
- (2) $\yen 582.96 \div 0.014 =$ _____
- (3) $\yen 197.69 \div 7.46 =$ _____
- (4) $\yen 784.06 \div 9.85 =$ _____
- (5) $\yen 50.75 \div 0.0812 =$ _____
- (6) $\yen 140.60 \div 0.00296 =$ _____
- (7) $\yen 799.80 \div 0.465 =$ _____
- (8) $\yen 2,559.32 \div 5.87 =$ _____
- (9) $\yen 49.41 \div 0.675 =$ _____
- (10) $\yen 278.73 \div 0.815 =$ _____

6. 指数の計算

(1) つぎの統計表は、わが國の國有鉄道の線路延長キロ数をしらべたものである。明治5年および大正元年を基準とした指数をもとめよ。

年次	線路キロ数	明治5年を基準とした指数	大正元年を基準とした指数
明治5年	29	100	100
同 15 年	185		
同 25 年	886		
同 35 年	1,710		
大正元年	8,390		
昭和元年	12,885		
同 10 年	17,030		
同 15 年	18,400		

(2) 日本および英國の紡績鍾数は下表のようである。1930年の鍾数を基準として各年の鍾数の1,000分比で表の指定欄に書き入れよ。(単位1,000鍾)

國名	摘要	1930	1931	1932	1933
英國	鍾数	34,000	32,676	31,709	30,894
	歩合%	1,000			
日本	鍾数	7,070	7,312	7,798	8,209
	歩合%	1,000			

加減法問題

番号	A		B		C		計	
1	2	16	712	94	527	01		
2	63	48	53	16	7,343	85		
3	80	50	930	57	86	04		
4	2	97	87	35	3,109	69		
5	19	35	46	90	64	92		
6	7	04	12	80	182	57		
計								

番号	D		E		F		計	
1	6	80	54	76	97	36		
2	77	54	319	15	108	03		
3	9	30	82	30	3,581	54		
4	1	45	21	84	74	02		
5	52	63	627	62	2,460	95		
6	8	02	43	98	29	27		
7	1	97	45	00	840	18		
8	36	79	14	92	61	78		
9	18	53	897	93	6,873	05		
10	90	40	105	06	106	34		
11	21	28	50	73	24	69		
12	4	60	78	69	52	90		
計								

7. 分 配 算

(1) 丸山君の学年に鉛筆 50 ダースの配給があった。その金額は ¥1,080 で、これを各組の人員に應じて分配するとそれぞれ何ほどか。また 1 人に対する配給数および金額はいくらか。

組	人員	比 率	分 配 数	金 額
A組	48名			
B組	56名			
C組	52名			
D組	44名			
計		100%		

(2) 青山君の学校の校友会費は ¥25 である。今 1 箇年間の予算総額より総務部予算額を引いた金額を、各班員数に應じて分配せよ。ただし総務部予算額は総予算額の 12% とする。

校友会編成		班 員 数	比 率	分 配 額
学 藝 部	総 務 部	—	—	—
	音 樂 班	54名		
	図 書 班	27名		
	美 術 班	63名		
体 育 部	珠 算 班	45名		
	野 球 班	72名		
	卓 球 班	35名		
	排 球 班	18名		
計		36名		

乗法問題

(1) $1.375 \times 287 =$

(2) $9.826 \times 430 =$

(3) $4.052 \times 593 =$

(4) $3.816 \times 709 =$

(5) $7.409 \times 925 =$

(6) $2.456 \times 384 =$

(7) $8.701 \times 541 =$

(8) $3.952 \times 168 =$

(9) $7.496 \times 602 =$

(10) $1.083 \times 716 =$

除法問題

(1) $103.275 \div 675 =$

(2) $409.978 \div 718 =$

(3) $103.840 \div 295 =$

(4) $206.658 \div 387 =$

(5) $442.740 \div 564 =$

(6) $53.790 \div 165 =$

(7) $233.770 \div 485 =$

(8) $586.014 \div 858 =$

(9) $499.824 \div 936 =$

(10) $261.356 \div 446 =$

8. 食物のカロリーの計算

食物の三栄養素の持つ熱量は、その全部が消化吸収されないで、実際に消化されるのはつぎのようである。

1gについて	カロリー	消化率	消化されるカロリー
たんばく質	4.35	92%	4カロリー
脂 肪	9.45	95 "	9 "
含水炭素	4.1	98 "	4 "

したがって今、牛乳100gの熱量を計算するには、牛乳100g中の成分はたんばく質3.5%、脂肪3.8%、含水炭素4.9%であるから

$$\text{たんばく質} \quad 4 \text{ カロリー} \times 3.5 = 14.0 \text{ カロリー}$$

$$\text{脂 肪} \quad 9 \text{ カロリー} \times 3.8 = 34.2 \text{ カロリー}$$

$$\text{含水炭素} \quad 4 \text{ カロリー} \times 4.9 = 19.6 \text{ カロリー} \text{ であって}$$

牛乳100gのカロリーは……………67.8カロリーである。

つぎのカロリーを計算せよ。

(1) 七分搗米 120g。ただし100gの成分はつぎのようである。

$$\text{たんばく質} \quad 7.54 \%$$

$$\text{脂 肪} \quad 1.00 \%$$

$$\text{含水炭素} \quad 75.36 \%$$

(2) 牛肉 60g。ただし100gの成分はつぎのようである。

$$\text{たんばく質} \quad 19.20 \%$$

$$\text{脂 肪} \quad 20.21 \%$$

$$\text{含水炭素} \quad \text{—}$$

(3) 食パン 140g。ただし100gの成分はつぎのようである。

たんぱく質 6.43%

脂 肪 0.27%

含水炭素 56.94%

つぎの各食品のカロリーを計算せよ。

食 品 名	摂取量	100g中 含水炭素	100g中 脂 肪	100g中た んぱく質	合 計 カロリー
さつまいも	560g	28.01%	0.19%	1.35%	
ト マ ト	220"	4.35"	0.19"	0.95"	
うどん	350"	25.90"	0.10"	4.90"	
だいこん	50"	3.70"	0.01"	0.73"	
豚 肉	75"	—	6.80"	20.30"	
いわし	135"	—	6.72"	21.39"	
卵	60"	1.55"	12.11"	12.55"	

上の表によって500カロリーの熱量をうどんと いわし から
とるには各何gずつ摂取したらよいか。

暗 算 問 題

番号	元 高	歩 合	歩合高	番号	元 高	歩 合	歩合高
1	¥100	20%		9	¥500	30%	
2	¥200	2"		10	¥600	3"	
3	¥30	20"		11	¥70	30"	
4	¥40	2"		12	¥80	3"	
5	¥500	40"		13	¥900	5"	
6	¥60	4"		14	¥20	50"	
7	¥700	40"		15	¥300	5"	
8	¥80	4"		16	¥400	50"	

加 減 法 問 題

番号	A		B		C		計	
1	6	80	74	67	9,051	54		
2	81	45	19	15	70	80		
3	7	54	455	00	839	27		
4	19	30	93	98	236	95		
5	63	20	132	30	6,417	36		
6	2	97	87	62	12	48		
計								

番号	D		E		F		計	
1	8	40	786	50	16	34		
2	3	50	637	13	303	05		
3	75	32	14	92	2,907	81		
4	54	60	85	18	189	08		
5	7	93	904	82	61	35		
6	39	75	28	69	1,782	75		
7	8	00	761	73	49	20		
8	14	26	62	42	504	09		
9	96	79	32	30	27	62		
10	1	28	509	09	342	48		
11	8	16	75	47	5,696	87		
12	20	41	504	91	56	45		
計								

9. 主食消費量の計算

われわれの日常生活にもっともたいせつな主食の配給量は、
どのようになっているかをしらべてみよう。

青山君の家庭	年齢	1人1日あたり配給定量
父	45	355g
母	37	355 "
兄	17	380 "
青山君	14	370 "
妹	9	290 "
祖父	70	320 "

青山君一家の1日の配給割り当て量 kg
2.070

同 1箇月(31日)分の配給割り当て量 64.170

以上は主食の配給が米の場合であるが、実際にはこのほかに
麦・小麦粉・高粱・とうもろこし・パン・ジャがいも・かんづ
め・砂糖などが米の量に換算されて配給されている。その比率
は

(イ) 麦・小麦粉・高粱・とうもろこし・砂糖は米と同量差し
引き

(ロ) パンは1斤について米 360g 差し引き

(ハ) ジャがいもは 4kg について米 1kg 差し引き

(ニ) かんづめは1ポンドについて米 650g 差し引かれる。

つぎは青山君の家のある月の配給量である。

配給日数	品 名	配給量 kg	米差し引き量 kg
3日分	米	6.200	6.200

		kg	kg
4日分	麦	8.300	8.300
3日分	小麦粉	6.200	6.200
5日分	ジャがいも	42.000	10.500
4日分	高粱	8.300	8.300
2日分	パン	12斤	4.320
4日分	米	8.300	8.300
3日分	とうもろこし	6.200	6.200
2日分	かんづめ	6ポンド	3.900
1日分	麦	2.070	2.070
計			64.290

この配給量を算出する場合に、米と同量差し引きでないパン・
ジャがいも・かんづめの配給量および米差し引き量が、どのよ
うにしてなされているかをしらべてみよう。

$$\begin{aligned}
 & \text{(イ) ジャがいも} \\
 & \text{kg} \quad \text{kg} \quad \text{kg} \\
 & (1.400 \times 6) \times 5 = 42.000 \\
 & \text{(1人1日分)} \quad \text{(青山君の家族数)} \quad \text{(配給日数)} \quad \text{(5日分の配給量)} \\
 & / \text{kg} \times (4.2 \text{kg} \div 4 \text{kg}) = 10.500 \\
 & \text{(米1kg)} \quad \text{(配給量)} \quad \text{(ジャがいも4kgについて)} \quad \text{(米差し引き量)}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 & \text{(ロ) パン} \\
 & (1 \text{斤} \times 6) \times 2 = 12 \text{斤} \\
 & \text{(1人1日分)} \quad \text{(家族数)} \quad \text{(配給日数)} \quad \text{(2日分の配給量)} \\
 & 360 \text{g} \times (12 \text{斤} \div 1 \text{斤}) = 4.320 \\
 & \text{(米360g)} \quad \text{(配給量)} \quad \text{(パン1斤について)} \quad \text{(米差し引き量)}
 \end{aligned}$$

(ハ) かんづめ
1ポンドが約1人2日分に当たるため

$$650g \times (6 \text{ ポンド} \div 1 \text{ ポンド}) = 3,900 \text{ kg}$$

(1ポンドについて米 05kg) (商略量) (1人約2日分) (米差しき量)

自分の家庭の米穀通帳についてつぎのことをしらべてみよう。

(1) 1日分の配給割り当て量

(2) 前月分の配給量

加減法問題

番号	A		B		C		計
1	4	79	21	23	39	54	
2	60	51	4	55	2,418	86	
3	32	28	746	54	49	64	
4	7	46	86	23	6,874	12	
5	86	90	273	98	91	02	
6	5	32	17	80	703	98	
7	48	71	6	32	1,625	53	
8	9	13	59	15	53	06	
9	6	71	901	37	278	70	
10	93	45	4	19	69	23	
11	65	12	686	04	521	41	
12	4	93	20	79	6,890	75	
13	65	82	6	58	32	68	
14	7	08	340	91	8,394	02	
15	41	32	8	70	41	77	
計							

乗法問題

- (1) $5,201 \times 158 =$ _____
- (2) $7,487 \times 703 =$ _____
- (3) $8,935 \times 697 =$ _____
- (4) $1,569 \times 291 =$ _____
- (5) $4,178 \times 608 =$ _____
- (6) $6,206 \times 279 =$ _____
- (7) $5,283 \times 254 =$ _____
- (8) $2,753 \times 348 =$ _____
- (9) $9,704 \times 967 =$ _____
- (10) $3,904 \times 805 =$ _____

除法問題

- (1) $413,216 \div 698 =$ _____
- (2) $513,324 \div 582 =$ _____
- (3) $41,704 \div 401 =$ _____
- (4) $60,711 \div 147 =$ _____
- (5) $141,662 \div 386 =$ _____
- (6) $80,190 \div 297 =$ _____
- (7) $492,788 \div 706 =$ _____
- (8) $87,622 \div 454 =$ _____
- (9) $563,904 \div 801 =$ _____
- (10) $129,310 \div 965 =$ _____

10. ガス料金の計算

青山君が学校から帰ってるすいをしていると、ガス屋さんが

ガス代調書	
本回指針	1340
前回指針	1307
御使用量	33
ガス代金	115.50
メートル損料	2.00
昭和 年 月 日 検針	
東京ガス株式会社	
検針員印	

ガスのメートルをしらべに来た。
そして左図のような調書を置いて
いった。この票によって青山君は
今月のガス代を計算してみた。

本回の指針

1,340 m^3 (立方メートル)

前回の指針

1,307 m^3

$\therefore 1,340m^3 - 1,307m^3 = 33m^3$

この 33 m^3 が今月の使用量である。

そこで、料金は 1 m^3 につき ¥3.50 であるから

¥3.50 $\times$ 33 = ¥115.50 となる。これにメートル損料を

加え、¥115.50 + ¥2.00 = ¥117.50 が支拂額となる。わ
れわれもやってみよう。

(A)

ガス代調書

本回指針	1795
前回指針	1762
御使用量	
ガス代金	
メートル損料	2.00

(B)

ガス代調書

本回指針	2193
前回指針	2145
御使用量	
ガス代金	
メートル損料	2.00

(C)

ガス代調書

本回指針	2875
前回指針	2822
御使用量	
ガス代金	
メートル損料	2.00

ガス料金計算問題

(注意) ガス料金は 1 m^3 につき ¥3.50, メートル損料は ¥2.00 とする。

摘要	本回指針	前回指針	今月使用量	支拂額
A 家庭	198	178		
B "	243	213		
C "	369	354		
D "	508	487		
E "	242	202		

加減法問題

$$A + B + C = D$$

番号	A	B	C	D
1	61 67	19 54		125 04
2	75 23	63 50		1,700 32
3	46 55	94 98		265 18
4	94 00	614 37		762 96
5	32 86	67 06		91 50
6	49 07	129 19		417 23
7	41 39	53 63		139 46
8	67 58	780 86		921 87
9	96 95	843 94		1,300 50
10	17 18	56 81		88 49
11	90 51	82 14		655 67
12	39 84	979 76		1,046 05
計				

11. 電燈料金の計算

われわれの家庭で消費する電力をなるべく節約して、これを日本経済の復興に必要な産業の増進にまわすことに協力すると

村山 一郎 殿 門番 6-7

昭和 年 月 分		千		百		十		元		角		分	
電燈料	5												
電料	26												
配線													
定額													

領収金額 四捨五入トシ拾銭単位ト数シマヌ
領収金額ヲ訂正シタモノハ無効ト数シマヌ
集金員印ナキモノハ無効ト数シマヌ

昭和 年 月 日 領収
関東配電株式会社
集金員印

ともに、苦しい家計の保持にとめることはたいてつなことである。それには電燈料金の計算方法を知ることでもある。

小野君たちはガスの場合と同じように、毎月使用量をしらべに來る人が置いて行った、電力計検針票を手がかりに、料金の計算方法をしらべた。

電燈料金の計算法には

1. 従量電燈料（契約燈数5燈以上の場合に適用）
2. 定額電燈料（契約燈数4燈以下の場合に適用し、電球の大きさによって料金が違う）がある。

1. 従量電燈料計算方法は

基本料金=取付電燈1燈について1箇月 ¥1.30

電力量料金=使用電力量1k.W.hにつき ¥0.90

ゆえに上の表によると、5燈契約で26k.W.hを使用しているから $¥1.30 \times 5 + ¥0.90 \times 26 = ¥29.90$ となる。

○契約燈数7燈、使用電力量34k.W.hの料金はいくらか。

○契約燈数6燈、使用電力量31k.W.hの料金はいくらか。

2. 定額電燈料金の計算方法は、電球の大きさによって料金が違うのでつぎのようにする（C.P.はよく（燭）光を表わす）。

C.P. C.P. 1燈につき1箇月
 $10-31 = ¥8.00$ 100C.P.超過分=¥20.00
 C.P.
 $32 = ¥12.00$ 100C.P.までを増すごとに
 C.P.
 $48 = ¥16.00$ ¥20.00
 C.P.
 $80 = ¥24.00$

ゆえに右の表の場合には15 C.P. 1燈、

ラジオ1箇であるから $¥8.00 \times 1 + ¥8.00 \times 1 = ¥16.00$ となる。

つぎの計算をせよ。

冬木 二郎 殿 門番 126

昭和 年 月 分		千		百		十		元		角		分	
電燈料	15												
電料	10												
配線													
定額													

領収金額 四捨五入トシ拾銭単位ト数シマヌ
領収金額ヲ訂正シタモノハ無効ト数シマヌ
集金員印ナキモノハ無効ト数シマヌ

昭和 年 月 日 領収
関東配電株式会社
集金員印

（注意） 従量電燈料金の計算ではラジオ1箇は1燈に数える。

摘要	燈数	電力量 k.W.h	ラジオ	従量・定額 の 区 別	電燈料金
A 家庭	5	24	1箇		
B "	36	3	/		
C "	7	35	1"		
D "	72	2	1"		
E "	8	40	2"		
F "	39	3	1"		

○あのおの家庭について検針票により計算してみよう。

代價の計算問題

番号	A	B	C	D
1	1,326g	6,140g	1,825g	3,518g
2	871	817	7,369	15,985
3	9,024	2,728	2,718	2,617
4	680	3,806	5,375	8,370
5	5,093	390	4,692	61,725
6	718	1,950	1,769	2,964
計				
単価	1gにつき 7.80	1gにつき 9.05	1gにつき 2.34	1gにつき 6.50
代價				

番号	E	F	G	H
1	9,375箱	5,670箱	5,674箱	4,193箱
2	246	7,415	4,201	7,018
3	8,010	2,310	3,519	15,260
4	9,157	989	4,083	4,534
5	924	4,317	2,918	38,680
6	6,083	2,843	5,746	1,420
7	2,641	5,690	9,628	58,767
8	8,537	628	3,700	2,935
計				
単価	1箱につき ¥ 56	1箱につき ¥ 75	1箱につき ¥ 108	1箱につき ¥ 230
代價				

乗法問題

答は銭位未満を四捨五入せよ。

- (1) ¥ 45.70 × 0.541 = _____
- (2) ¥ 52.60 × 0.0019 = _____
- (3) ¥ 70.53 × 7.20 = _____
- (4) ¥ 16.04 × 3.71 = _____
- (5) ¥ 40.85 × 0.0683 = _____
- (6) ¥ 39.10 × 0.0505 = _____
- (7) ¥ 48.05 × 791 = _____
- (8) ¥ 80.63 × 28.6 = _____
- (9) ¥ 17.00 × 0.0085 = _____
- (10) ¥ 92.40 × 20.4 = _____

除法問題

答は銭位未満を四捨五入せよ。

- (1) ¥ 3,958.08 ÷ 496 = _____
- (2) ¥ 19.68 ÷ 7.29 = _____
- (3) ¥ 621.18 ÷ 203 = _____
- (4) ¥ 403.30 ÷ 0.545 = _____
- (5) ¥ 3,595.50 ÷ 846 = _____
- (6) ¥ 49.22 ÷ 107 = _____
- (7) ¥ 445.48 ÷ 301 = _____
- (8) ¥ 9.69 ÷ 0.00285 = _____
- (9) ¥ 6,517.51 ÷ 659 = _____
- (10) ¥ 739.53 ÷ 0.0913 = _____

12. いろいろな計算

(1) つぎの電報料金の総額はいくらか。これを普通電報料金の場合と各種特別取扱料金の場合とに分けて計算せよ。

(注意) 料金は実際に郵便局に行ってしらべた上で計算すること。

摘要	字 数	料 金 額	摘要	字 数	料 金 額
A	19		F	35	
B	23		G	13	
C	30		H	28	
D	36		I	52	
E	41		J	46	

支拂総額

(2) つぎの食品のカロリーを計算せよ。なお白米とさつまいもから1,000カロリーをとるには、あのあの何グラムずつとったらいいか。

(注意) カロリーは単位未満を四捨五入すること。

食 品 名	100g中 たんぱく質	100g中 脂 肪	100g中 含水炭素	攝取量	合 計 カロリー
白 米	6.99%	0.41%	77.53%	130g	
江戸みそ	14.35"	6.25"	20.72"	30"	
ね ぎ	1.40"	0.42"	3.20"	25"	
海 苔	35.20"	—	43.50"	60"	
さつまいも	1.10"	0.23"	27.70"	600"	
豚 肉	13.72"	38.97"	—	90"	
食パン	6.70"	0.15"	55.40"	150"	

(3) つぎの表は学校購買部の今月分の在庫品集計高である。

売上金額および期末残高をもとめよ。なお売上高の仕入高に対する歩合はどうか。期末残高に対して5分8厘の破損があるとすれば残高はいくらか。

日 附	本 月 仕 入 高	本月売上高	期 末 残 高
30	シャープペンシル ￥ 750	24本	6本
"	消 し ゴ ム " 90	29箇	7箇
"	ク ー ト " 600	47冊	3冊
"	財 布 " 660	8箇	4箇
"	半 紙 " 900	95折	5折
"	そろばん " 1,800	9ちょう	3ちょう
"	鉛 筆 " 78	54本	6本
"	万 年 筆 " 1,350	21本	9本
"	バ ッ ト " 480	10本	5本
"	わ ら 半 紙 " 630	1900枚	200枚
"	墨 " 552	17ちょう	7ちょう
"	筆 " 340	18本	2本
"	運動ぐつ " 2,300	6足	4足
"	刺 繍 糸 " 400	35束	5束
"	ミ シ ン 針 " 135	22本	8本
"	イ ン キ " 360	12箇	8箇
計			

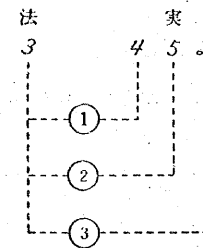
加減法問題

番号	A		B		C		計	
1	60	34	7	34	60	91		
2	7	57	498	70	547	15		
3	564	58	385	36	431	46		
4	679	20	85	86	368	90		
5	9	87	296	10	84	08		
6	381	08	75	42	18	25		
計								

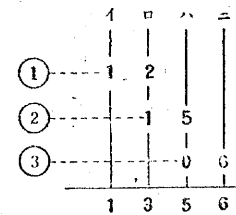
番号	D		E		F		計	
1	18	94	91	84	163	95		
2	975	92	8	76	84	77		
3	86	05	24	95	321	00		
4	30	60	38	00	74	22		
5	87	53	572	50	67	24		
6	152	79	656	42	175	50		
7	94	13	9	23	213	20		
8	16	27	10	31	54	69		
9	629	11	57	12	89	35		
10	3	90	4	17	98	73		
11	4	28	196	30	12	36		
12	421	04	69	09	907	89		
計								

2. 暗算法 (乗法・除法)

例 1. 452×3 を暗算で計算するには、つぎのようにすることが便利である。



暗算でするそろばん面

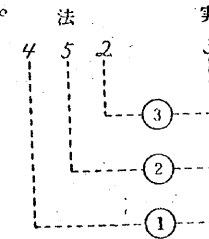


① 最初実の首位の数 4 を法 3 に掛け、積 12 だけを暗算でするそろばん面のイけたを十位として置き、

② つぎに実の次位の数 5 を法 3 に掛け、積 15 をロけたを十位として暗算で加え、

③ さらに実の末位の数 2 を法 3 に掛け、積 06 をハけたを十位として (=けたに 6 を) 加える。

例 2. 3×452 を暗算で計算するには、つぎのような順序に掛け合わせ。その積は、例 1 の暗算でするそろばん面と同じようにして計算するのである。



除法はすべて珠算法と同じ要領で計算すればよい。

つぎの計算を暗算でせよ。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| (1) 34×2 | (2) 23×3 |
| (3) 12×4 | (4) 31×5 |
| (5) 41×6 | (6) 15×7 |
| (7) 24×7 | (8) 43×4 |
| (9) 16×9 | (10) 32×6 |
| (11) 6×17 | (12) 7×93 |
| (13) 8×46 | (14) 5×14 |
| (15) 9×72 | (16) 8×51 |
| (17) 3×18 | (18) 7×29 |
| (19) 4×35 | (20) 6×53 |

乗法問題

- | |
|---------------------------|
| (1) $1,359 \times 38.2 =$ |
| (2) $830 \times 4,720 =$ |
| (3) $9,682 \times 176 =$ |
| (4) $714 \times 5,013 =$ |
| (5) $8,167 \times 465 =$ |

除法問題

- | |
|----------------------------|
| (1) $363,923 \div 7,427 =$ |
| (2) $47,460 \div 3,955 =$ |
| (3) $120,288 \div 42 =$ |
| (4) $447,939 \div 639 =$ |
| (5) $31,824 \div 204 =$ |

歩合算問題

番号	A	B	C	D
1	8 817	9 9,150	5 5,821	8 8,135
2	3,905	309	9,673	51,985
3	860	6,830	8,172	7,162
4	4,290	8,272	5,735	3,780
5	178	718	2,962	61,725
6	6,231	4,690	6,179	4,692
(計) 元高				
歩合	18%	23%	45%	31%
歩合高				

番号	E	F	G	H
1	7 7,385	8 827	7 7,300	2 2,935
2	1,462	9,650	8,296	76,875
3	3,860	3,482	6,475	4,210
4	942	7,143	8,192	83,680
5	7,195	980	4,380	4,345
6	8,100	9,213	9,135	16,250
7	6 624	4,175	1,420	7,180
8	3,975	7,650	4,765	3,941
(計) 元高				
歩合	35%	16%	24%	48%
合計高				

暗算問題

(1) $18 \times 7 =$	(11) $9 \times 24 =$
(2) $4 \times 21 =$	(12) $35 \times 8 =$
(3) $92 \times 6 =$	(13) $7 \times 13 =$
(4) $3 \times 58 =$	(14) $42 \times 5 =$
(5) $57 \times 9 =$	(15) $6 \times 42 =$
(6) $6 \times 14 =$	(16) $18 \times 7 =$
(7) $43 \times 3 =$	(17) $5 \times 36 =$
(8) $9 \times 26 =$	(18) $23 \times 9 =$
(9) $21 \times 5 =$	(19) $8 \times 24 =$
(10) $8 \times 37 =$	(20) $51 \times 3 =$

3. 標準技能の測定 (中級)

青山君たちは、第1学年の終りに珠算標準技能測定問題(初級)をつくって試験を行ってから、大分上達したので、今度は程度を1級高めて中級の問題をつくって試験を行うことにした。この試験でも、加減法(見取り算)、乗法・除法は、いずれも計算時間内に全部正確な答を得なければ合格しない。その答が正しいかどうかは、加減法(見取り算)は縦計を横に合計したものと、横計を縦に合計したものが一致すれば、その答は正しいことがわかるし、乗法・除法はその答を合計したものが、あらかじめなされた答の合計高に合えばよい。ただ加減法(読み上げ算)だけは8点までを合格として、先生に読み上げ方を願った。

乗法問題(中級)

計算時間 15 分

答は銭位未満を四捨五入せよ。

(1) $\yen 2.84 \times 495 =$
(2) $\yen 3.15 \times 740 =$
(3) $\yen 4.72 \times 38.6 =$
(4) $\yen 86.90 \times 0.0024 =$
(5) $\yen 71.35 \times 51 =$
(6) $\yen 63.52 \times 615 =$
(7) $\yen 25.91 \times 0.0702 =$
(8) $\yen 10.76 \times 0.983 =$
(9) $\yen 4.80 \times 71.29 =$
(10) $\yen 3.94 \times 8.603 =$

答の合計高 $\yen 47,011.34$

除法問題(中級)

計算時間 15 分

答は銭位未満を四捨五入せよ。

(1) $\yen 55.10 \div 290 =$
(2) $\yen 34.27 \div 0.0149 =$
(3) $\yen 456.44 \div 839 =$
(4) $\yen 3,239.45 \div 48.35 =$
(5) $\yen 1,385.52 \div 1,506 =$
(6) $\yen 6.03 \div 0.0075 =$
(7) $\yen 344.98 \div 47 =$
(8) $\yen 348.48 \div 60.5 =$
(9) $\yen 6.53 \div 0.782 =$
(10) $\yen 317.19 \div 291 =$

答の合計高 $\yen 3,195.19$

加減法問題 (見取り算)

54

番号	1		2		3		4		計
1	7	87	10	20	83	75	94	30	
2	30	92	-	4	71	7	84	21	
3	2	43	35	84	27	38	-	7	47
4	6	10	83	50	94	53	-	34	84
5	4	74	9	90	16	25	65	38	
6	81	51	-	5	62	6	10	96	90
7	92	38	-	82	13	41	3	45	-
8	5	25	-	1	96	27	6	79	31
9	37	47	-	9	65	84	7	2	82
10	70	64	68	69	37	49	-	96	96
計							65	49	

計算時間 15 分

加減法問題 (読み上げ算)

読み上げ速度 1 秒間に 15 字

番号	1		2		3		4		5
1	4.35	28.37	14.37	18.13	5.28	689.07	-	36.00	73.15
2	77.68	1.68	35.61	7.67	358.45	3.62	59.29	-	4.14
3	1.83	47.43	58.28	73.75	97.97	64.95	-	102.75	426.46
4	32.17	-	5.64	24.26	791.20	4.93	85.70	-	7.83
5	5.94	-	12.90	46.80	82.90	10.50	18.90		
6	17.26	5.24	97.97	69.34					
7	56.89	-	1.95	82.90					
8	90.30	-	3.00	10.50					
9	4.95	67.68							
10	2.10	-	82.09						
計									

(6)から(10)までの問題は、(1)から(5)までの問題と同じ程度で行う。

55

4. 諸等数(不十進)計算法

私たちの日常生活で、ただ一つの単位で、すべての量をはかろうとすると、数があまり大きくなったり、小さくなったりして不便ことが多い。たとえば、時間の場合に山本君が100 mを0.3分で走ったとか、あるいは0.005時間で走ったといっても、その速さがはっきりわからないし、他と比較するのも不便である。こういうときは18秒という方が便利である。ところが、時間をすべて秒で表わすとする、1日は86,400秒で、岡田君は家で毎日7,200秒勉強するなどという表わし方になって不便である。そこで私たちは、時間を表わすときには、ごくわずかな場合は、分や秒で表わし、長くなると時間や日を単位にした方が簡単に表わすことができる。このほか、私たちは長い間の習慣として、同じ種類のものでも、その量によって、大きいものや、小さいものなど、いくつかの単位を設けて、その時に應じて便利な単位を使うのである。

このように計算する単位が二つ以上あり、他の単位でもいい表わすことのできる名数を諸等数という。

〇つぎの名数が諸等数であるかどうかを考え、諸等数のものは他の単位で表わしてみよ。

- (1) (金 額) 85円
- (2) (鉛 筆) 60本
- (3) (重 量) 20kg
- (4) (時 間) 390分

- (5) (距 離) 2,500m

諸等数が一つの単位で表わされている場合、たとえば、5ダースとか、4.5kg というようなとき、これを単名数という。

また二つ以上の単位で表わされている場合、たとえば、鉛筆50本(単名数)は4ダースと2本であり、あるいは時間で390分(単名数)は6.5時間(単名数)であるが、それより6時間30分という方がわかりよい。4ダース2本や6時間30分というように二つ以上の単位を用いて、同じ種類の数量を表わしたものを複名数という。

〇つぎの名数は、単名数か、複名数か。

- (1) 6日10時50分
- (2) 8.5町
- (3) 8グロス6ダース
- (4) 450間
- (5) 8ダース4箇
- (6) 3,900分
- (7) 5里3町10間
- (8) 4.5時間
- (9) 6.875グロス

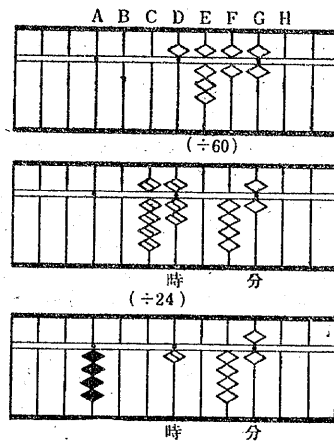
諸等数のうち、上と下の単位の関係が10あるいは10ⁿのもの、すなわち十進のものを十進諸等数といい、そうでないものとたとえば1日は24時間、1時間は60分、また1グロスは12ダース、1ダースは12箇というような名数を不十進諸等数という。

〇上の数か、十進諸等数か、不十進諸等数かを考えよ

1. 諸等数命法

単名数を複名数になおすことを命法という。

例1. 5,866 分を複名数(何日何時何分)になおせ。



5,866 分を図のように
定位点を利用して布数する。
これを 60 (分) で割る。
この場合 2 けた (60) で割
るから、答は分の 1 位 G け
たから 3 けた左へ数えた D
けたがダースの 1 位になり、
97 時 46 分となる。つぎ
に 46 分はそのままにし、
97 時間を 24 (時) で割る。
この場合も 2 けた (24) で

割るから、答は時間の 1 位 D けたから 3 けた左へ数えた A けた
が日の 1 位になる。

答 4 日 / 時 46 分

○ 4 日 / 時 46 分を分の単名数になおす方法を考えよ。

○ つぎの単名数を複名数になおせ。

番 号	単 名 数	複 名 数
1	3,067 分	日 時 分
2	4,980 "	" " "
3	5,637 "	" " "
4	13,005 "	" " "
5	49,560 "	" " "

例2. 8,057 箇を複名数(何グロス何ダース何箇)になおせ。

8,057 箇を図のように
定位点を利用して布数する。

これは 12 (箇) で割る。

この場合 2 けた (12) で割
るから、答は箇の 1 位 G け
たから 3 けた左へ数えた D
けたがダースの 1 位になり、
671 ダース 5 箇となる。

つぎに 5 箇はそのままにし、
671 ダースを 12 (ダース)

で割る。この場合も 2 けた

(12) で割るから、答はダースの 1 位 D けたから、3 けた左へ
数えた A けたがグロスの 1 位になる。

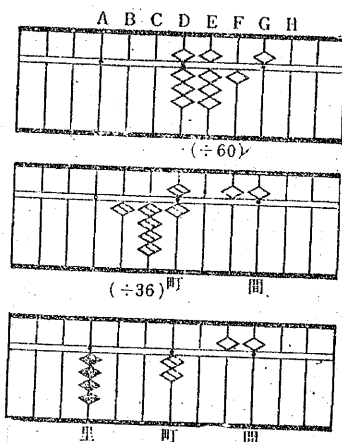
答 55 グロス // ダース 5 箇

○ 55 グロス // ダース 5 箇を箇の単名数になおす方法を考
えよ。

○ つぎの単名数を複名数になおせ。

番 号	単 名 数	複 名 数
1	4,924 箇	グロス ダース 箇
2	5,076 "	" " "
3	2,490 "	" " "
4	3,896 "	" " "
5	7,514 "	" " "

例3. $8.8/5$ 間を複名数(何里何町何間)になおせ。



$8.8/5$ 間を図のように
定位点を利用して布数する。

これを60(間)で割る。

この場合2けた(60)で割
るから、答は間の1位Gけ
たから、3けた左へ数えた
Dけたが町の1位になる。

その結果は146町55間
となる。

つぎに55間はそのまま
にし、146町を36(町)で

割る。この場合も2けた(36)で割るから、答は町の1位Dけ
たから、3けた左へ数えたAけたが里の1位になる。

答 4里2町55間

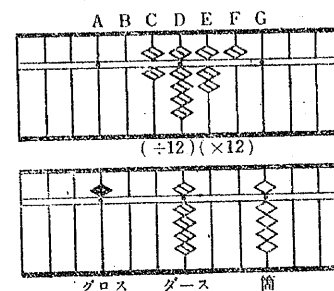
○4里2町55間を間の単名数になおす方法を考えよ。

○つぎの単名数を複名数になおせ。

番 号	単 名 数	複 名 数
1	4,966間	里 町 間
2	8,107"	" " "
3	2,490"	" " "
4	10,425"	" " "
5	29,603"	" " "

例4. 69.75 ダースを複名数になおせ。

図のように定位点を利用
してDけたを1位として布
数する。



(1) 整数の部分すなわち
69 ダースは12(ダース)
で割ってグロスの分を繰り
上げる。

(2) 小数の部分すなわち 0.75 ダースは1 ダースにみたな
い分で、箇にあたる分であるから、これに12(箇)を掛けて、
箇になおす。この場合(1)と(2)はどちらからやってもよい。

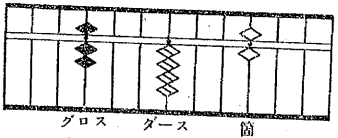
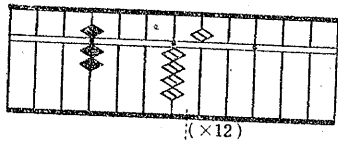
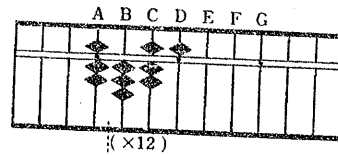
答 5 gross 9 dars 9 gins

○5 gross 9 dars 9 ginsをダースの単名数になおす方法を
考えよ。

○つぎの単名数を複名数になおせ。

番 号	単 名 数	複 名 数
1	86.5 ダース	gross dars gins
2	39.75 "	" " "
3	50.25 "	" " "
4	45.5 "	" " "
5	74.5 時	日 時 分
6	91.45 "	" " "
7	43.85 "	" " "
8	87.5 町	里 町 間
9	92.15 "	" " "
10	68.65 "	" " "

例5. 7.375 グロスを複名数になおせ。



図のように定位点を利用してAけたを1位として布数する。

7 grossはそのままにして0.375 grossに12(ダース)を掛けてダースの単位になおす。0.375 gross = 4.5 ダース。

つぎに4.5ダースのうち4ダースはそのままにして、0.5ダースに12(箇)を掛けて箇の単位になおす。

0.5ダース=6箇

答 7 gross 4 ダース 6 箇

○7 gross 4 ダース 6 箇をgrossの単名数になおす方法を考えよ。

○つぎの単名数を複名数になおせ。

番号	単名数	複名数
1	6.875 gross	gross dars ryo
2	4.3125 "	" " "
3	5.6875 "	" " "
4	2.6 日	日 時 分
5	8.2 "	" " "
6	7.8 里	里 町 間
7	1.65 "	" " "

暗算(乗除法)問題

(1) $35 \times 4 =$	(6) $558 \div 9 =$
(2) $62 \times 7 =$	(7) $270 \div 6 =$
(3) $97 \times 3 =$	(8) $58 \div 2 =$
(4) $18 \times 5 =$	(9) $228 \div 3 =$
(5) $74 \times 8 =$	(10) $336 \div 7 =$

加減法問題

番号	A			B			C			
1	%	20	78	%	861	40	%	740	95	
2		76	63		6	145	07	2	037	56
3		435	70		2	903	31		502	15
4		28	35			808	37		46	91
5		610	07			-10	86	1	813	82
6		726	40			323	20		31	02
7		80	59	-8	241	95		7	206	44
8		607	88	-2	789	19			85	98
9		97	67			60	64	8	046	29
10		219	97		9	470	07		604	73
11		685	82			535	90		929	17
12		95	09		3	452	18		60	71
13		36	52			-24	75	7	893	26
14		840	85	-6	298	43		2	063	40
15		19	90			719	07		647	71
計										

度量衡の計算

(A) /ダース=12箇

番 号	ダース	箇
1	346	
2	805.5	
3		8,736
4		5,682

(B) /m=3.3尺

番 号	m	尺
1	840	
2	750	
3		2,112
4		1,914

(C) /升=約1.81

番 号	升	l
1	265	
2	837	
3		936
4		238.5

(D) /貫=3.75kg

番 号	貫	kg
1	364	
2	726	
3		1,605
4		4,672.5

(E) /グロス=12ダース

番 号	グロス	ダース
1	687	
2	93.75	
3		3,468
4		639

(F) 鯨尺/尺=曲尺/1.25尺

番 号	鯨尺	曲尺
1	376	
2	81.2	
3		920
4		532.5

(G) /里=36町

番 号	里	町
1	485	
2	76.5	
3		20,268
4		4,482

(H) /里=約3,927m

番 号	里	m
1	53	
2	26	
3		82,467
4		298,452

暗算(加減法)問題

番号	1	2	3	4	5
1	4.95	.31	.47	96.	609.
2	.70	6.24	.29	532.	47.
3	-.13	.56	3.84	805.	73.
4	.52	-.82	1.05	-27.	-288.
5	2.68	9.07	-.61	-76.	15.
計					

収支計算

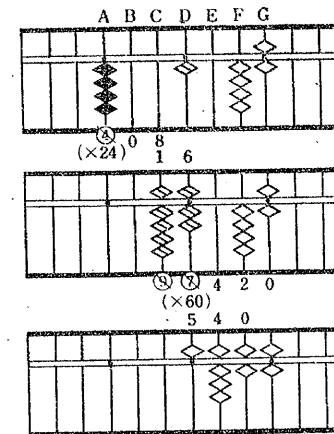
月日	収	入	支	出	収または支	差引累計残高
○ 1		5066		937		
3		30657		23593		
6		309		4009		
7		312640		394427		
9		7537		40873		
15		93942		4983		
17		794350		76680		
20		72031		821575		
21		80784		42180		
23		257		910		
25		150422		68639		
28		87861		76082		
30		43296		94554		
計						

2. 諸等数通法

複名数を単名数になおすことを通法という。

例1. 4日 / 時46分を分の単名数になおせ。

まず4日をAけたの定位点を1位として布数する。つぎにこれを時間になおすには24(時)を掛けるからAけたから右へ3けた数えたDけたが時間の1位になる。またDけたの時間を分になおすには、60(分)を掛けるからDけたから右へ3けた数えたGけたが分の1位になる。それで図のように定位点のあるA, D, Gけたをおのこの日, 時, 分の1位として布数する。つぎに4日に24(時)を掛けて, 時間になおし, その時間に60(分)を掛け分になおす。

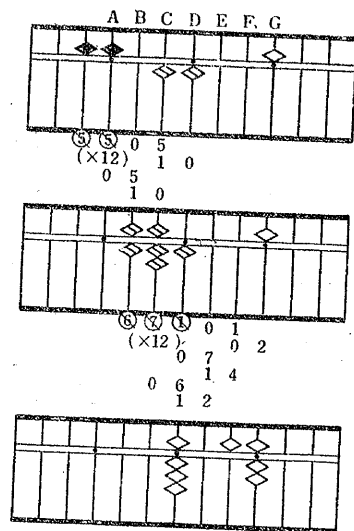


答 5,866 分

○つぎの複名数を単名数になおせ。

番号	複名数	単名数
1	2日 / 時30分	分
2	4" 6" 15"	"
3	8" 21" 28"	"
4	3" 0" 46"	"
5	10" 4" 50"	"

例2. 55グロス//ダース5箇を箇の単名数になおせ。



まず55グロスをAけた
の定位点を1位として布数
する。つぎにこれをダース
になおすには、12(ダース)
を掛けるからAけたから右
へ3けた数えたDけたがダ
ースの1位になる。またD
けたのダースを箇になおす
には、12(箇)を掛けるから
Dけたから右へ3けた数え
たGけたが箇の1位になる。
それで図のように定位点の

あるA, D, Gけたをおのこのグロス・ダース・箇の1位とし
て布数する。

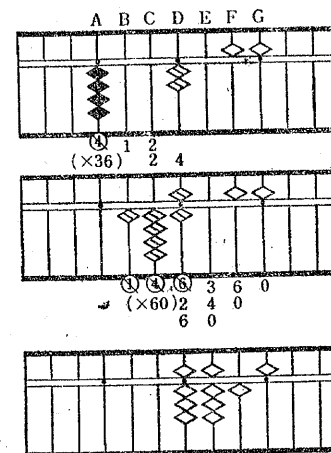
つぎに55グロスに12(ダース)を掛けてダースになおし、
C, Dけたにあるダースに加え、そのダースに12(箇)を掛け
て箇になおし、Gけたにある箇に加える。 答 8,057箇

○つぎの複名数を単名数になおせ。

番 号	複 名 数	単 名 数
1	6グロス 4ダース 7箇	箇
2	4 " 8 " 3"	"
3	8 " 0 " 11"	"
4	15 " 2 " 4"	"
5	26 " 11 " 8"	"

例3. 4里2町55間を間の単名数になおせ。

まず4里をAけたの定位
点を1位として布数する。
つぎにこれを町になおすに
は36(町)を掛けるからA
けたから右へ3けた数えた
Dけたが町の1位になる。
またDけたの町を間になお
すには60(間)を掛けるか
らDけたから右へ3けた数
えたGけたが間の1位にな
る。それで図のように定位



点のあるA, D, Gけたをおのこの里, 町, 間の1位として布
数する。

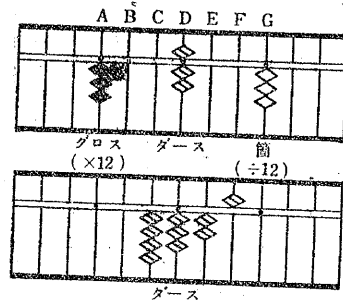
つぎに4里に36(町)を掛けて町になおし、Dけたにある町
に加え、その町に60(間)を掛けて間になおしF, Gけたにあ
る間に加える。

答 8,815間

○つぎの複名数を単名数になおせ。

番 号	複 名 数	単 名 数
1	6里/4町36間	間
2	3" 0"45"	"
3	8"25" 3"	"
4	12"10"20"	"
5	20"32"41"	"

例4. 3 gross 7 dars 3 danesをダースの単名数になおせ。



図のように定位点を利用して布数し

(1) 3 grossは12(ダース)をかけてダースになおす。3 gross = 36ダース

(2) 3 danesは12(ダース)で割ってダースになおす。

$$3 \text{ danes} = 0.25 \text{ dars}$$

この場合(1)と(2)はどちらからやってもよい。

答 43.25ダース

○つぎの複名数をダース、時、または町の単名数になおせ。

番号	複名数	単名数
1	6 gross 2 dars 6 danes	ダース
2	4 " 11 " 9 "	"
3	7 " 10 " 3 "	"
4	8 " 0 " 6 "	"
5	2 日 21 時 30分	時
6	3 " 15 " 39 "	"
7	4 " 0 " 33 "	"
8	1 里 17 町 30間	町
9	3 " 20 " 15 "	"
10	5 " 4 " 54 "	"

例5. 2 gross 7 dars 6 danesをgrossの単名数になおせ。

図のように定位点を利用して

して布数する。

(1) 6 danesをダースの単位になおすために12(ダース)で割る。

$$6 \text{ danes} = 0.5 \text{ dars}$$

(2) 7.5 darsをgrossの単位になおすために12(ダース)で割る。

$$7.5 \text{ dars} = 0.625 \text{ gross}$$

答 2.625 gross

○つぎの複名数をgross、日または里の単名数になおせ。

番号	複名数	単名数
1	4 gross 10 dars 6 danes	gross
2	9 " 9 " 9 "	"
3	7 " 5 " 3 "	"
4	3 日 19 時 12分	日
5	6 " 8 " 24 "	"
6	2 里 21 町 36間	里
7	8 " 1 " 48 "	"

暗算(應用)問題

- (1) 3日を時間になおせ (7) 360秒を分になおせ
 (2) 6日 " (8) 450秒 "
 (3) 9日 " (9) 1,020秒 "
 (4) 2時間を分になおせ (10) 72尺を間になおせ
 (5) 4時間 " (11) 108尺 "
 (6) 15時間 " (12) 276尺 "

歩合算問題

*欄をもとめよ。ただし銭未満四捨五入せよ。

番号	A	B	C	D
1	¥ 435.09	¥ 760.13	¥ 963.75	¥ 628.31
2	687.26	496.87	508.29	-x
3	913.48	531.02	742.50	849.06
4	258.60	-809.15	319.16	512.27
5	570.92	x	285.49	-306.88
6	337.75	-125.38	890.32	737.60
7	824.59	960.74	x	-499.45
8	142.34	-348.29	677.01	250.13
計すなわち元高	x	¥ 2,140.00	¥ 4,850.00	x
歩合	3 $\frac{1}{5}$ %	x	x	8%
歩合高	x	¥ 53.50	x	x
合計高	x	x	¥ 5,044.00	x
残高	x	x	x	¥ 1,836.55

乗法問題

- (1) $6,451 \times 289 =$ _____
 (2) $2,509 \times 835 =$ _____
 (3) $8,982 \times 576 =$ _____
 (4) $1,036 \times 703 =$ _____
 (5) $7,145 \times 162 =$ _____
 (6) ¥ $36.74 \times 647 =$ _____
 (7) ¥ $53.17 \times 490 =$ _____
 (8) ¥ $18.20 \times 828 =$ _____
 (9) ¥ $90.83 \times 351 =$ _____
 (10) ¥ $42.69 \times 904 =$ _____

除法問題

- (1) $61,596 \div 354 =$ _____
 (2) $245,421 \div 603 =$ _____
 (3) $157,119 \div 249 =$ _____
 (4) $196,245 \div 801 =$ _____
 (5) $480,180 \div 530 =$ _____
 (6) ¥ $1,676.16 \div 288 =$ _____
 (7) ¥ $5,140.85 \div 715 =$ _____
 (8) ¥ $1,615.88 \div 406 =$ _____
 (9) ¥ $1,574.40 \div 192 =$ _____
 (10) ¥ $5,466.73 \div 971 =$ _____

諸等数命法通法問題

つきの單名数は複名数に、複名数は單名数になおせ。

(A)

番 号	單 名 数	複 名 数
1	8,199箇	グロス ダース 箇
2	3,267 "	" " "
3	"	18 " 6 " 11 "
4	"	25 " 10 " 3 "
計	"	" " "

(B)

番 号	單 名 数	複 名 数
1	6,092分	日 時 分
2	4,581 "	" " "
3	"	2 " 5 " 27 "
4	"	4 " 17 " 10 "
計	"	" " "

(C)

番 号	單 名 数	複 名 数
1	7,609間	里 町 間
2	9,086 "	" " "
3	"	4 " 3 " 15 "
4	"	2 " 15 " 7 "
計	"	" " "

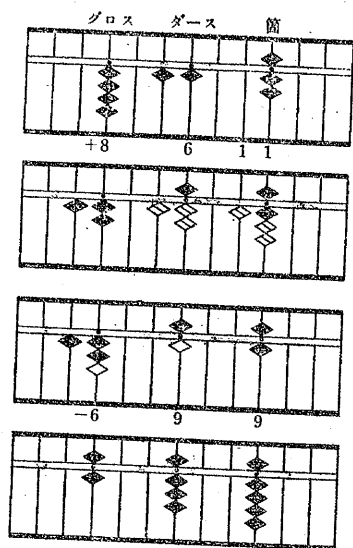
○複名数の加減法は、どのようにやればよいか。くふうせよ。

加 減 法 問 題

番号	A		B		C		計	
1	57	78	83	75	236	12		
2	29	03	8	74	143	80		
3	42	93	973	82	24	73		
4	70	16	40	53	89	96		
5	46	47	16	25	658	71		
6	18	15	1	60	72	75		
7	24	38	413	45	905	50		
8	52	53	726	79	4	67		
9	37	47	2	47	391	68		
10	40	76	973	94	9	43		
11	10	20	42	30	715	34		
12	84	71	12	81	478	46		
13	35	48	87	47	10	85		
14	50	38	435	48	6	32		
15	90	90	56	83	283	76		
16	26	52	99	60	95	22		
17	31	28	22	65	10	04		
18	19	96	312	82	139	20		
19	56	91	96	69	58	07		
20	66	89	56	94	465	13		
計								

3. 諸等数加法および減法

例1. 4グロス11ダース7筒+8グロス6ダース11筒



4グロス11ダース7筒
+ 8グロス6ダース11筒
は通法のとくと同様に定位
点を利用して布数する。こ
れに8グロス6ダース11
筒を加える。
筒の位で12になったと
きは1ダースに繰り上げる。
また、ダースの位も12に
なったときは1グロスに繰
り上げる。

それで12グロス17ダ
ース18筒は13グロス6

ダース6筒になる。

これから6グロス9ダース9筒を引く、そのとき9ダース
は1グロス(12ダース)を、9筒は1ダース(12筒)をそれ
ぞれ借りて引く、その上の単位から借りて引くとき、1グロス
をとって12ダースを加えてから9ダースを引くのであるが、
そうしないで、1グロスをとったら9ダースの12ダースに対
する補数3ダースを加えればよい。答6グロス8ダース9筒

諸等数の加減法は、このほか、ある単位の数の上の単位に繰
り上がる数になっても、そのままにして計算の最後にまとめて

繰り上げてよい。また、各単位ごとに別々に計算してもよい。

暗算(加減法)問題

水谷君の家の人が昨夜寝た時間とけさ起きた時間はつぎのと
おりであった。寝ていた時間を計算せよ。

	就寝時間	起床時間	睡眠時間
祖母	9時	5時	
父	10時	5時半	
母	10時半	4時半	
兄	9時半	5時40分	
水谷君	9時	6時5分	
妹	8時半	6時45分	

加減法(諸等数)問題

番号	1	2
	グロス ダース 筒	グロス ダース 筒
1	6,138 11 6	3,302 1 5
2	1,127 0 11	625 10 4
3	992 2 4	705 9 0
4	2,006 10 5	7,156 4 3
5	405 8 7	-6,715 2 5
6	5,552 4 3	- 348 0 2
7	991 5 9	9,538 7 11
8	1,638 11 2	423 11 9
9	216 4 10	-8,042 1 7
10	806 1 3	- 814 4 4
計		

暗算(加減法)問題

つぎの就寝時間と睡眠時間により起床時間をもとめよ。

	就寝時間	睡眠時間	起床時間
祖父	9時25分	8時間35分	
父	11時10分	6時間30分	
母	11時30分	5時間30分	
兄	10時15分	7時間35分	
水谷君	9時40分	8時間35分	
弟	8時50分	9時間50分	

賣上帳の計算

賣 上 帳

昭和 ○年	摘要	内 訳	金 額
△ 5	青山商店 現金		
	万年筆 4ダロス5ダース		
	1ダースにつき ¥1,093.00		
	シャープ 3ダロス6ダース		
	1ダロスにつき ¥4,320.00		
18	田中商店 掛		
	鉛筆 6ダロス4ダース6本		
	1ダロスにつき ¥261.80		
23	鈴木商店 現金		
	インキ 8 $\frac{1}{2}$ " 5筒 / 筒につき ¥28.00		
	消しゴム 3 $\frac{1}{2}$ " 6 $\frac{1}{2}$ " / 筒につき ¥1.40		
	本月総売上高		

C代價の銭未満は四捨五入せよ。

加減法問題

番号	A	B	C	計
1	723,421.	10,547.	1,760.	
2	279,580.	51,881.	675,045.	
3	8,062.	8,604.	63,840.	
4	43,275.	711,860.	145,306.	
5	351,960.	7,656.	- 89,651.	
6	7,086.	480,724.	- 30,219.	
7	46,138.	68,439.	- 456,231.	
8	70,680.	23,147.	1,706.	
9	94,186.	392,079.	73,520.	
10	7,637.	4,783.	4,042.	
11	572,481.	30,962.	86,533.	
12	99,925.	565,204.	- 9,758.	
計				

仕入帳の計算

仕 入 帳

昭和 ○年	摘要	内 訳	金 額
△ 4	横 派 商 店 掛		
	絵具/2色(すずちゅうプ入)		
	2 ² ×6 ³ ×5箱/箱につき ¥ 54.80		
	"(鉛筆入)5 ² ×1 ² ×6箱/箱につき ¥ 48.80		
" 10	松 本 商 会 現金		
	クレヨン8色 7 gross 3ダース/10箱		
	1箱につき ¥ 14.60		
	" 12色4 ² ×10 ² ×3箱/箱につき ¥ 18.30		
" 17	森 田 商 店 諸 口		
	インキ2オンス入 3 gross 5ダース6箇		
	1ダースにつき ¥ 277.20		
	" 12 ² ×4 gross 11 ² " ¥ 731.52		
" 21	中 村 商 会 現金		
	パーレット 7 gross 1ダース6箇		
	1ダースにつき ¥ 190.00		
	シャープ 8 ² ×11 ² ×7本/箱につき ¥ 360.00		
" 27	高 田 商 店 諸 口		
	学習用鉛筆 10 ² ×3 ² ×1 ² につき ¥ 261.80		
	図画用鉛筆2 ² ×6 ² ×9本/箱につき ¥ 460.00		
	色鉛筆 3 ² ×4 ² ×6本/箱につき ¥ 690.00		
	本月総仕入高		

○代價の銭未満は四捨五入せよ。

4. 諸等数乘法および除法

複名数の乘法や除法を行うには、複名数を単名数になおして掛け、あるいは割って、その後複名数になおせばよい。

○つぎの計算をせよ。

- (1) 8 gross 7ダース 3箇 × 72 =
- (2) 6 日 4 時 24分 × 49 =
- (3) 2 里 14 町 35間 × 364 =
- (4) 253 gross 11ダース 3箇 ÷ 51 =
- (5) 173 日 12 時 32分 ÷ 23 =
- (6) 2,009 里 3 町 56間 ÷ 418 =

また、この計算は、複名数のまま掛け、あるいは割ることもできる。

例 1. 4 gross 8ダース 3箇 × 63

これを筆算で考えるとつぎのようになる。

$$(イ) 3箇 \times 63 = 189箇$$

$$189箇 \div 12(箇) = 15(ダース) \cdots \text{余り} 9箇$$

$$(ロ) 8ダース \times 63 = 504ダース$$

$$(504ダース + 15ダース) \div 12(ダース)$$

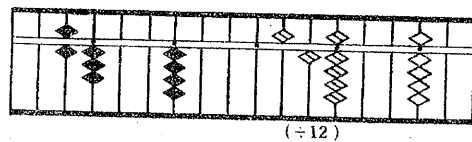
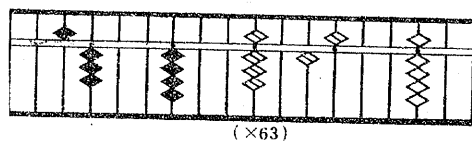
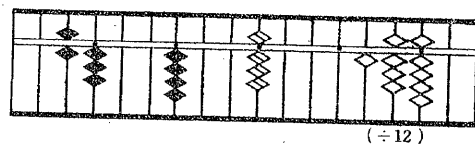
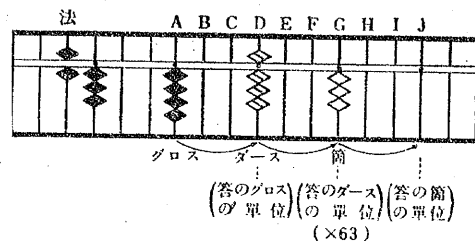
$$= 43(gross) \cdots \text{余り} 3ダース$$

$$(ハ) 4 gross \times 63 = 252 gross$$

$$252 gross + 43 gross = 295 gross$$

$$\text{答 } 295 gross 3ダース 9箇$$

これをそろばんの上で行うには、つぎのようにする。



と 189 箇になる。これをすぐ $\div 2$ (箇) で割り、ダースに繰り上がるものをダースに上げて置く、この場合 189 箇は 15 ダース 9 箇に変わる。

つぎに 8 ダースに 63 を掛けて、その 15 ダースに加える。

この場合、ダースの積は 504 ダースであるが、箇の積から繰り上がった 15 ダースと加え、519 ダースとなる。

4 グロス 8
ダース 3 箇は
定位点を利用
して、通法の
場合と同様に
布数する。

法数 63 は
グロス、ダース、箇の
おののに掛ける
から、答の位
置は、実数の
位置より 3 け
たず右へ移
ることになる。

まず 3 箇だ
け 63 を掛け

これをすぐ

12 (ダース)

で割り、グロ

スに繰り上が

るものをグロ

スに上げて置

く、この場合

519 ダースは 43 グロス 3 ダースに変わる。

つぎに 4 グロスに 63 を掛けてその 43 グロスに加える。

答 295 グロス 3 ダース 9 箇

例 2. 295 グロス 3 ダース 9 箇 $\div 63$

295 グロ

ス 3 ダース 9

箇は定位点を

利用して布数

する。

法数は 63

(2 けた) であ

るから、答の

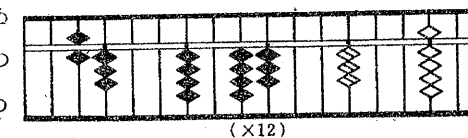
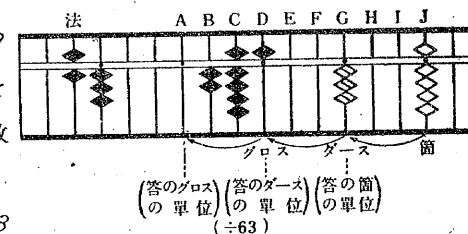
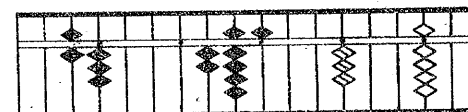
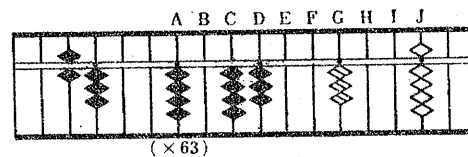
位置は実数の

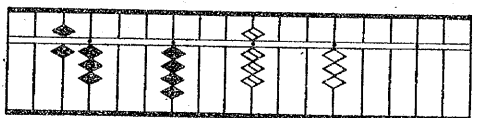
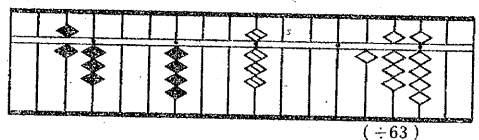
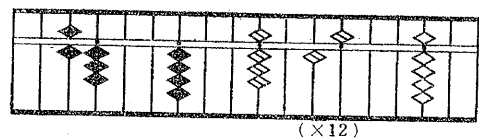
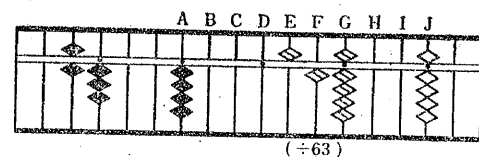
位置よりおの

おの 3 けたずつ左へ移ることになる。

まず、最上単位のグロスから割る。

295 グロス $\div 63 = 4$ グロス... 余り 43 グロス





8 ダース… 余り 15 ダース

この余りの 15 ダースに 12 を掛けて筒になおす。

$$15 \text{ ダース} + 9 \text{ 筒} = 189 \text{ 筒}$$

つぎに 189 筒を 63 で割る。

$$189 \text{ 筒} \div 63 = 3 \text{ 筒}$$

答 4 グロス 8 ダース 3 筒

○この計算方法は乗法と除法にどのような関係があるか。

○この方法によって 20 ページの乗法と除法を行え。

つぎに余り

の 43 グロス
に 12 を掛けて
ダースにな
おす。

43 グロス
+ 3 ダース
= 519 ダース。

つぎにダースを 63 で割る。

$$519 \text{ ダース} \div 63 =$$

諸等数乗法問題

(1) 24 グロス 6 ダース 3 筒 $\times 29 =$ _____

(2) 15 " 4 " 7 " $\times 45 =$ _____

(3) 39 " 0 " 11 " $\times 53 =$ _____

(4) 92 " 11 " 3 " $\times 62 =$ _____

(5) 40 " 10 " 8 " $\times 78 =$ _____

答の合計 _____

(6) 7 日 16 時 38 分 $\times 42 =$ _____

(7) 3 " 6 " 16 " $\times 38 =$ _____

(8) 9 " 0 " 4 " $\times 93 =$ _____

(9) 2 " 10 " 50 " $\times 76 =$ _____

(10) 8 " 21 " 7 " $\times 47 =$ _____

答の合計 _____

(11) 9 里 3 町 35 間 $\times 54 =$ _____

(12) 13 " 9 " 40 " $\times 78 =$ _____

(13) 30 " 25 " 51 " $\times 91 =$ _____

(14) 18 " 20 " 6 " $\times 12 =$ _____

(15) 23 " 6 " 10 " $\times 39 =$ _____

答の合計 _____

諸等数除法問題

- (1) 466グロス4ダース8箇 $\div 73 =$
 (2) 199 " 3 " 8" $\div 41 =$
 (3) 758 " 9 " 0" $\div 36 =$
 (4) 1,760 " 6 " 6" $\div 58 =$
 (5) 2,957 " 9 " 4" $\div 64 =$

答の合計.....

- (6) 24日 0時45分 $\div 15 =$
 (7) 270" 7" 34" $\div 82 =$
 (8) 330" 13" 25" $\div 37 =$
 (9) 331" 1" 36" $\div 96 =$
 (10) 414" 14" 21" $\div 59 =$

答の合計.....

- (11) 123里24町 2間 $\div 23 =$
 (12) 319" 34" 25" $\div 67 =$
 (13) 299" 20" 48" $\div 78 =$
 (14) 1,137" 33" 10" $\div 91 =$
 (15) 845" 18" 6" $\div 42 =$

答の合計.....

加減法問題

番号	A		B		C		計	
1	34	16	564	57	1,234	51		
2	195	78	- 91	73	907	76		
3	7	32	6	82	93	86		
4	2	86	786	05	12	08		
5	210	90	- 18	94	4,565	92		
6	43	45	902	03	784	30		
計								

番号	D		E		F		計	
1	243	01	3	14	213	18		
2	71	89	598	80	1,934	81		
3	4	81	81	91	459	30		
4	187	90	- 43	50	90	59		
5	2	63	539	62	2,316	70		
6	97	25	-307	27	872	22		
7	565	42	- 12	36	47	34		
8	60	53	-674	52	6,785	65		
9	393	26	875	63	102	56		
10	10	90	215	80	9,673	89		
11	787	48	-129	46	587	40		
12	4	65	497	40	4	06		
計								

乗除法問題

答は分数で示せ。

- (1) $70\frac{5}{12} \times 85 =$ _____
- (2) $23\frac{23}{36} \times 37 =$ _____
- (3) $66\frac{11}{24} \times 149 =$ _____
- (4) $19\frac{17}{60} \times 751 =$ _____
- (5) $24\frac{61}{100} \times 807 =$ _____
- (6) $7,260\frac{11}{12} \div 89 =$ _____
- (7) $3,244\frac{31}{36} \div 61 =$ _____
- (8) $14,143\frac{19}{24} \div 497 =$ _____
- (9) $13,788\frac{27}{60} \div 351 =$ _____
- (10) $23,814\frac{59}{100} \div 587 =$ _____

諸等数乗除法問題

- (1) 8大グロス 4グロス10箇 $\times 413 =$ _____
- (2) 2 日 14 時 23分 $\times 507 =$ _____
- (3) 1 里 16 町 5間 $\times 796 =$ _____
- (4) 1,121グロス11ダース3箇 $\div 261 =$ _____
- (5) 5,141 日 1 時 36分 $\div 832 =$ _____
- (6) 1,414 里 14 町 14間 $\div 658 =$ _____

暗算(乗除法)問題

- (1) 曲尺 8尺を鯨尺になおせ (9) 鯨尺 4尺を曲尺になおせ
- (2) " 17尺 " (10) " 16尺 "
- (3) " 29尺 " (11) " 48尺 "
- (4) " 154尺 " (12) " 192尺 "
- (5) 鯨尺 3寸をcmになおせ (13) 360間を町になおせ
- (6) " 4寸 " (14) 720間 "
- (7) " 6寸 " (15) 1,140間 "
- (8) " 8寸 " (16) 1,860間 "

代価計算問題

	塩	みそ	サイダー	食用油
	g	匁	ダース 本	升 合
1	5.876	3.629	6 9	2 8
2	.204	.805	14 3	6 7
3	9.653	.371	23 10	3 4
4	.192	6.072	8 7	5 9
5	.481	9.106	15 2	7 3
6	7.005	.544	27 5	8 2
計				
単価	100匁につき ¥2.20	50匁につき ¥3.30	1ダース につき ¥183.60	11につき ¥902.00
代価				

代價計算問題

鉛	筆	く	つ	下	ハンカチーフ
1	4ダロス 8ダース10本	2ダロス 6ダース11足			5ダロス3ダース10枚
2	3 " 7 " 4"	8 " 9 " 0"			9 " 6 " 2"
8	8 " 2 " 6"	10 " 5 " 7"			7 " 9 " 0"
4	5 " 11 " 8"	6 " 10 " 2"			2 " 0 " 9"
計					
單價	1本につき ¥1.60	1ダースにつき ¥255.00			1ダースにつき ¥1,870.00
代價					

賣掛金元帳

鈴木商店

昭和	摘要	数量	単價	内	記	賣掛金	回収高	残高
23	銘せん しまもの	10びき	3,000.00					
"	" 夜具地 しまもの	23びき	2,300.00					
25	現金受け取り						37,600.00	
26	"						28,400.00	
27	小切手受け取り						10,000.00	
31	"						6,900.00	

○内訳、賣掛金、残高欄のそれぞれに金額を記入し締め切りをなせ。

加減法問題

番号	1	2	3
1	¥ 3,402.51	¥ 3,252.97	¥ 17,751.39
2	134.60	970.10	- 36.21
3	98,205.06	258.68	-9,880.67
4	94.21	60,661.49	309.99
5	346.49	7,358.90	97.23
6	5,688.28	57.63	76,664.70
7	13,544.76	45,325.86	-4,082.48
計			

番号	4	5	6
1	¥ 36.51	¥ 35.19	¥ 628.39
2	9,165.83	3,403.86	15.03
3	4,819.07	29.71	7,234.21
4	308.64	6,037.86	20,958.08
5	92,910.97	248.70	- 624.37
6	354.72	92.19	-5,196.70
7	8,033.09	79,860.29	70.68
8	85.14	1,698.77	9,416.26
9	9,230.67	361.54	57,248.19
10	53,797.28	8,531.62	- 902.57
11	486.19	60,455.70	-6,459.32
計			

5. 外國貨幣の計算

外國の貨幣のなかには、わが國のように / 円は / 00 錢とい
うような制度のものもあれば、また十進でなく、不十進のもの
もある。

(1) 米國の貨幣

基本單位 ドル(\$)

補助單位 セント

1 ドル = 100 セント

560 ドル 30 セントを記入するときは \$ 560.30 のように
表わす。

(2) 英國の貨幣

基本單位 ポンド (£)

補助單位 シリング

" ペンス

1 ポンド = 20 シリング

1 シリング = 12 ペンス

4 ポンド 7 シリング 10 ペンスを記入するときは £ 4-7-
10 のように表わす。

(3) 佛國の貨幣

基本單位 フラン (Fr)

補助單位 サンチーム

1 フラン = 100 サンチーム

35 フラン 24 サンチームを記入するときは Frs. 35.24 の
ように表わす。

(4) 露國の貨幣

基本單位 ルーブル (Rb)

補助單位 コペック

1 ルーブル = 100 コペック

(5) 中國の貨幣

中國の貨幣は地方によって異なり、全國が統一されていな
いがその代表的なものはつぎのものである。

基本單位 元 (ユアン) または弗 (ドル)

補助單位 角 (チヤ)

" 分 (フエン)

1 元 = 10 角, 1 角 = 10 分

以上のうち、米國・佛國・露國・中國の貨幣制度はわが國の
ものと同様で計算方法もわが國の場合と同様である。

英國の貨幣は不十進であるから、まえに学んだ不十進諸等数
の計算として扱わなければならない。

〇つぎの單名数を複名数になおせ。

(1) 785 ペンス (2) 3,016 ペンス

(3) 86.5 シリング (4) 6.825 ポンド

〇つぎの複名数を(1), (2)はペンス, (3)はシリング, (4)はボン
ドの單名数になおせ。

(1) £ 3-6-4

(2) £ 2/-78-11

(3) £ 4-3-9

(4) £ 9-10-6

外國貨幣計算問題

番 号	1	2	3
1	\$ 783.19	Frs. 317.02	Rb. 1,202.55
2	986.16	730.43	54.36
3	48.96	41.29	-620.98
4	57.23	2,931.25	74.77
5	742.73	-35.51	4,059.13
6	95.96	-830.65	-375.69
7	2,273.89	-1,551.56	90.34
8	725.04	64.03	-34.29
9	1,563.03	-666.47	-689.34
10	-109.65	-915.79	42.41
計			
× または ÷	÷ 847	× 381	÷ 479
積 または 商			

(4)	\$	$34.90 \times 603 =$
(5)	Frs.	$70.50 \times 184 =$
(6)	Rb.	$61.80 \times 278 =$
(7)	\$	$95.10 \times 345 =$
(8)	\$	$7,475.30 \div 826 =$
(9)	Frs.	$1,106.84 \div 413 =$
(10)	Rb.	$2,925.74 \div 607 =$

外國貨幣計算問題

番 号	1	2	3
1	元 47,261.60	£ 62-10-5	£ 14-15-6
2	9,855.00	4-8-7	9-0-11
3	504.90	76-0-10	2-13-5
4	86.00	9-12-4	23-8-7
5	20,392.00	5-4-11	-4-10-9
6	5,864.10	8-16-3	61-0-8
7	362.30	20-4-5	-40-17-10
8	7,582.80	65-1-0	-8-5-2
9	19,045.90	7-3-6	-57-4-4
10	708.00	27-15-3	3-8-6
計			
× または ÷	× 308	÷ 54	× 37
積 または 商			

(4)	元	$25.40 \times 435 =$
(5)	£	$4-13-2 \times 73 =$
(6)	£	$8-5-11 \times 61 =$
(7)	£	$9-10-7 \times 89 =$
(8)	元	$6,227.00 \div 958 =$
(9)	£	$107-15-11 \div 41 =$
(10)	£	$191-7-3 \div 27 =$

米貨加減法問題

番号	1		2		3		計
1	8	854 46	6	012 36	8	46 25	
2		725 09		987 88	4	819 07	
3		85 22	1	007 45		308 64	
4	2	273 89		674 93		92 59	
5		95 96		15 16		109 73	
6		742 73	-	944 01	5	472 80	
7	9	570 24	-	889 76		369 85	
8		48 76		70 53		144 92	
9		986 10		689 34	3	067 84	
10	1	703 09	-7	874 56		537 90	
11	1	560 33		311 23	2	784 86	
12		606 21		34 29		19 73	
計							

英貨加減法問題

番号	1	2
1	£ 3,067-11-4	£ 518-10-7
2	205-9-7	781-16-0
3	660-6-10	2,896-0-11
4	7,913-7-5	-1,467-7-3
5	2,184-12-3	-190-14-6
6	896-5-0	6,105-8-10
7	9,043-13-11	-959-12-5
計		

番号	3	4
1	£ 8,796-6-5	£ 5,436-6-7
2	274-4-10	2,098-19-3
3	416-0-2	7,477-7-9
4	5,688-19-3	-913-2-8
5	739-2-8	-569-10-11
6	6,028-5-1	2,222-8-0
7	570-1-6	456-1-2
8	4,108-17-9	8,934-3-5
9	5,364-6-0	-4,041-15-4
10	770-18-8	-516-0-10
11	3,542-3-11	7,493-14-6
計		

米貨乗除法問題

答はセント未満を四捨五入せよ。

(1) \$	78.30	× 16	=	
(2) \$	53.96	× 23	=	
(3) \$	21.64	× 458	=	
(4) \$	8,151.00	× 7.75	=	
(5) \$	4,063.00	× 0.809	=	
(6) \$	471.01	÷ 37	=	
(7) \$	3,711.75	÷ 75	=	
(8) \$	7,026.25	÷ 803	=	
(9) \$	1,301.68	÷ 42.2	=	
(10) \$	6.50	÷ 0.915	=	

英貨乗除法問題

答はペンス未満を四捨五入せよ。

(1) £	9-11-	9 × 46	=	
(2) £	6- 9-	4 × 19	=	
(3) £	7-17-10	× 73	=	
(4) £	40- 8-	3 × 87	=	
(5) £	51- 2-	8 × 58	=	
(6) £	117-17-	6 ÷ 23	=	
(7) £	217-11-	4 ÷ 61	=	
(8) £	634- 6-	1 ÷ 79	=	
(9) £	143-15-	8 ÷ 52	=	
(10) £	523-14-	1 ÷ 84	=	

加減法問題

番号	A		B		C		計	
1	121	43	53	67	353	46		
2	5	26	414	20	17	21		
3	93	07	- 7	53	9,425	90		
4	48	49	239	02	310	04		
5	315	80	-64	86	762	88		
6	7	62	788	57	1,086	57		
計								

番号	D		E		F		計	
1	453	14	83	29	3,989	04		
2	12	05	571	01	210	32		
3	79	08	14	58	781	53		
4	831	63	683	79	918	76		
5	8	07	216	07	4,619	01		
6	184	79	- 90	84	7	86		
7	99	80	-496	00	5,474	08		
8	27	56	- 8	52	105	90		
9	693	20	-519	73	782	72		
10	6	52	232	45	93	48		
11	712	44	-435	46	6,355	46		
12	3	65	716	23	26	23		
計								

暗算問題

つぎの分数を小数になおせ。

(1) $\frac{1}{2} =$	(6) $\frac{1}{8} =$
(2) $\frac{1}{4} =$	(7) $\frac{3}{8} =$
(3) $\frac{3}{4} =$	(8) $\frac{5}{8} =$
(4) $\frac{1}{5} =$	(9) $\frac{1}{16} =$
(5) $\frac{3}{5} =$	(10) $\frac{9}{16} =$

乗法問題

答は銭位未満を四捨五入せよ。

(1) ￥ 45.39 × 135	=	
(2) ￥ 58.76 × 802	=	
(3) ￥ 14.16 × 905	=	
(4) ￥ 28.94 × 716	=	
(5) ￥ 54.27 × 853	=	
(6) ￥ 3.875 × 4.09	=	
(7) ￥ 6.730 × 0.00321	=	
(8) ￥ 9.271 × 0.578	=	
(9) ￥ 8.049 × 90.4	=	
(10) ￥ 7.163 × 0.0317	=	
(11) ￥ 4.202 × 5.98	=	
(12) ￥ 8.694 × 0.264	=	
(13) ￥ 3.056 × 0.0173	=	
(14) ￥ 6.388 × 95.2	=	

合計金額 ￥ 1,517,780.63

加減法問題

番号	A	B	C	計
1	213 56	3 40	193 45	
2	4 27	515 28	6 20	
3	90 83	- 76 73	9,028 76	
4	342 46	986 70	313 74	
5	5 07	-694 08	4,561 02	
6	19 81	12 59	788 95	
計				

番号	D	E	F	計
1	82 13	342 54	7,512 53	
2	485 42	513 42	6,214 14	
3	4 26	270 26	32 62	
4	373 86	- 96 95	426 98	
5	78 19	-198 10	75 03	
6	617 05	-433 87	5,432 80	
7	6 40	82 60	697 04	
8	590 76	- 4 73	6 70	
9	8 32	-516 08	893 03	
10	15 03	- 83 95	1,708 97	
11	209 75	677 40	85 45	
12	91 49	215 91	8,919 01	
計				

暗算(加減法)問題

番号	1	2
1	£ 7-2-9	£ 62-9-8
2	15-8-6	38-10-10
3	26-0-10	164-15-4
4	34-7-5	-79-2-3
5	18-11-7	501-16-11
計		

除法問題

答は銭位未満を四捨五入せよ。

(1) 円	$2,762.91 \div 379$	=	
(2) 円	$7,026.25 \div 875$	=	
(3) 円	$3,485.40 \div 628$	=	
(4) 円	$210.79 \div 197$	=	
(5) 円	$1,252.40 \div 505$	=	
(6) 円	$0.24 \div 0.0261$	=	
(7) 円	$310.68 \div 42.2$	=	
(8) 円	$8.48 \div 0.982$	=	
(9) 円	$14.42 \div 7.06$	=	
(10) 円	$6.29 \div 0.00925$	=	
(11) 円	$7.93 \div 0.0864$	=	
(12) 円	$23.87 \div 0.153$	=	
(13) 円	$1.51 \div 0.00529$	=	

合計金額 円 1,264.68

加減法問題

番号	A	B	C	D	計
1	78 90	53 60	673 96	6 08	
2	91 73	979 75	17 80	6,899 81	
3	687 56	8 17	1,565 18	73 75	
4	4 28	18 35	7 32	5,122 44	
5	196 53	502 25	5,425 24	93 26	
6	4 25	614 64	875 64	7 55	
7	10 94	4 60	4 96	346 30	
8	2 46	89 46	912 40	109 40	
9	785 60	42 05	56 03	7,244 26	
10	7 13	3 72	385 71	310 78	
11	324 37	791 38	42 37	97 34	
12	10 82	7 43	2,898 48	585 28	
計					

6. 期間の計算

1. 満期日

2月10日より3箇月貸す場合に、その期日は5月10日である。この場合の5月10日を満期日といい、3箇月間を期間という。

期間の計算は貸借・売買・利息などの計算上きわめて重要で、民法に規定されているが、特別の事由のないかぎりこれによってなされる。

(1) 期間を日で定めた場合

たとえば3月10日より30日間といえば、満期日は4月9日である。この場合は初日の翌日3月11日を起算日として、30日目すなわち、4月9日を満期日とする。

例

番号	貸借日	期間	起算日	満期日
1	10月15日	25日間	10月16日	11月9日
2	11月30日	55日間	12月1日	1月24日
3	1月12日	80日間	1月13日	2月12日

例(3)は2月11日となるが、この日が休日にあたるようなときは、慣習上取引を行わないときに限ってその翌日を満期日とする。したがって祝祭日、日曜日なども同じである。また期間の満了する時は満期日の午後12時であるが、銀行などのように慣習上午後3時30分で閉店となる場合はもちろん、これにしたがう。

(2) 期間を月または年で定めた場合。

たとえば5月18日より3箇月間といえば、満期日は5月19日を起算日として暦にしたがってその月数すなわち3箇月にあたる月の應当日すなわち8月19日の前日の8月18日である。

例

番号	貸借日	期間	起算日	應当日	満期日
1	4月2日	2箇月	4月4日	6月4日	6月3日
2	23年6月1日	3年	23年6月2日	26年6月1日	26年6月1日
3	3月31日	6箇月	4月1日	10月1日	9月30日
4	10月31日	4箇月	11月1日	なし	2月28日(平年)
5	2月28日	5箇月	3月1日	なし	7月31日

最後の月に應当日のない場合は、その月の末日を満期日とする。

2. 日数計算

たとえば4月10日より6月12日までの日数を数えるのに、つぎの3種の方法がある。

- (イ) 片落し { (A) 4/11-6/12.....63日
(B) 4/10-6/11.....63日
(ロ) 両端入 4/10-6/12.....64日
(ハ) 両端落し 4/11-6/11.....62日

また、この日数の計算は次ページの日数早見表によれば便利である。日数早見表はある月のある日より1箇月あるいは数箇月後のその日までの片落日数を示すものである。それで両落しのときは1日引き、両端入のときは1日加えればよい、またこれは平年としてつくってあるので、2月が29日の場合に期間が2月末を含むときは1日加えればよい。この表を利用して逆に期日を知ることでもある。

例1. 2/3—8/3 (片落日数)

表の自2月の欄と、至8月の行の交わるところをみる。

答 181日

日数早見表

自	至	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1月		365	31	59	90	120	151	181	212	243	273	304	334
2月		334	365	28	59	89	120	150	181	212	242	273	303
3月		306	337	365	31	61	92	122	153	184	214	245	275
4月		275	306	334	365	30	61	91	122	153	183	214	244
5月		245	276	304	335	365	31	61	92	123	153	184	214
6月		214	245	273	304	334	365	30	61	92	122	153	183
7月		184	215	243	274	304	335	365	31	62	92	123	153
8月		153	184	212	243	273	304	334	365	31	61	92	122
9月		122	153	181	212	242	273	303	334	365	30	61	91
10月		92	123	151	182	212	243	273	304	335	365	31	61
11月		61	92	120	151	181	212	242	273	304	334	365	30
12月		31	62	90	121	151	182	212	243	274	304	335	365

例2. 3/10—12/15 (両端入日数)

表により 3/10—12/10 (片落日) 275日

12/10—12/15 5日

両端入のため 1日

計 281日

例3. 10/15—翌5/3 (両端落日数)

表により 10/15—5/15 (片落日) 212日

5/3—5/15 12日

両端落日のため 1日

計 199日

また日数早見表のないときはつぎのように日数を計算する。

例 4/9—9/10 (片落日数)

(第1法) 4月 30—9 21日

5月 31日

6月 30日

7月 31日

8月 31日

9月 10日

計 154日

(第2法) 9月—4月=5月

30日×5= 150日

10日—9日 1日

(9月) (4月)

4/9—9/10の大の月は

5, 7, 8月であるから 3日

計 154日

○つぎの日数を計算せよ。ただし2月は28日として計算せよ。

(1) 3/16—4/28 (片落日)

(9) 6/30—7/8 (両端入)

(2) 2/21—7/13 (")

(10) 5/20—12/6 (")

(3) 5/4—8/30 (")

(11) 3/9—8/25 (両端落日)

(4) 6/20—12/6 (")

(12) 10/21—翌3/6 (")

(5) 1/31—10/24 (")

(13) 8/2—12/30 (")

(6) 8/3—翌2/15 (両端入)

(14) 7/14—10/18 (")

(7) 4/16—11/3 (")

(15) 12/30—翌4/7 (")

(8) 2/7—5/21 (")

暗算問題

番号	A	B	C	D	計
1	¥ 86	¥ 16	¥ 27	¥ 58	
2	92	72	74	43	
3	15	38	60	72	
4	47	94	58	10	
5	30	50	13	69	
計					

乗法問題

(1)	¥ 874.00 × $\frac{57}{100}$ =
(2)	¥ 129.00 × $1\frac{3}{100}$ =
(3)	¥ 507.00 × $\frac{91}{100}$ =
(4)	¥ 36,000.00 × $\frac{¥ 0.017}{¥ 100.00}$ =
(5)	¥ 54,000.00 × $\frac{¥ 0.021}{¥ 100.00}$ =
(6)	¥ 80,000.00 × $\frac{¥ 0.013}{¥ 100.00}$ × 67 =
(7)	¥ 91,000.00 × $\frac{¥ 0.021}{¥ 100.00}$ × 215 =
(8)	¥ 27,000.00 × $\frac{1}{100}$ × $\frac{13}{30}$ =
(9)	¥ 75,000.00 × $\frac{6}{100}$ × $\frac{292}{365}$ =
(10)	¥ 73,000.00 × $\frac{5}{100}$ × $\frac{64}{365}$ =

加減法問題

計算の途中で銭位未満の端数を生ずるときは銭位未満四捨五入せよ。

番号	1	2	3
1	¥ 821.88	¥ 7,670.93	¥ 5,309.
2	411.20	1,111.42	472,951.
3	6,920.76	509.21	45,029.
4	72,736.16	35,604.30	6,189,406.
5	× 6.75%	-365.86	762,080.
6	5,699.00	÷ 365	増 30%
7	286.37	-109.00	15,220.
計			

番号	4	5	6
1	¥ 520.04	¥ 1,202.66	¥ 3,081.21
2	869.56	853.91	719.66
3	-4,213.67	7,604.30	50,570.05
4	85,615.00	578.09	9,315.34
5	7,900.93	1,971.84	- 864.18
6	÷ ¥ 100.00	× $7\frac{1}{2}\%$	-47,985.42
7	× ¥ 0.012	4,584.36	1,263.40
8	1,985.75	26,717.95	減 50%
9	23,706.26	851.25	-3,044.50
10	- 371.60	9,560.69	879.06
11	-4,229.40	× 219	4,748.35
12	× 72	÷ 365	増 13%
計			

7. 利息の計算

銀行や郵便局に預金すれば利息がつく、それは預金者が銀行や郵便局にお金を貸したことになるからである。この借主が貸主に支拂うお金の使用料を利息という。

今ある人が¥1,000.00を年3分で2年貸したとする。この場合の貸借金額¥1,000.00を元金といい、一定期間内の元金の利息に対する割合を利率または利子歩合という。ここでの利子は年3分である。貸借の期間は日数・月数・年数で表わされる。2年後には元金と利息が貸主に返される。これを元利合計という。

利率は両者の約束によってきめられるが、利率の契約がない場合には、法律により民事のときは年5分、商事のときは年6分とされている。これを法定利率という。また約束の利率であってもあまりに高利である場合は利息制限法により裁判上無効となる。その限度は下のとおりである。

元 金	¥ 100.00 未満	年 1 割 5 分
"	¥ 100.00 以上 ¥ 1,000.00 未満	年 1 割 2 分
"	¥ 1,000.00 以上	年 1 割

利息は計算および支拂の方法により、単利・複利の2種がある。これを前例によると、

(1) 単利では1年末、2年末とも元金¥1,000.00にのみ年3分の利息すなわち¥30.00ずつで計¥60.00がつく。

(2) 複利では1年を計算の単位とする場合には1年末には¥30.00の利息がつき、2年末には1年末の元利合計¥1,030.00

に対して年3分すなわち¥30.90の利息がつき計¥90.90の利息がつく。

利率は年利・月利・日歩によって示され、計算方法もそれぞれ異なる。

(1) 年利の場合

(イ) 元金¥3,800.00, 利率年3.5%, 期間4年の利息はいくらか。

$$¥3,800.00 \times 0.035 = ¥133.00 \cdots 1 \text{ 年の利息}$$

$$¥133.00 \times 4 = ¥532.00 \cdots 4 \text{ 年の利息}$$

(ロ) 元金¥7,560.00, 利率年4分8厘, 期間7箇月の利息はいくらか。

$$¥7,560.00 \times 0.048 = ¥362.88 \cdots 1 \text{ 年の利息}$$

$$¥362.88 \times \frac{7}{12} = ¥211.68 \cdots 7 \text{ 箇月の利息}$$

1年は12箇月であるから1年の利息の $\frac{1}{12}$ が1箇月の利息である。

(ハ) 元金¥1,240.00, 利率年3.8%, 期間3年5箇月の元利合計はいくらか。

$$¥1,240.00 \times 0.038 = ¥47.12 \cdots 1 \text{ 年の利息}$$

$$¥47.12 \times \frac{41}{12} = ¥160.99 \cdots 3 \text{ 年 } 5 \text{ 箇月の利息}$$

$$¥1,240.00 + ¥160.99 = ¥1,400.99 \cdots \text{元利合計}$$

これをまとめると

$$¥1,240.00 \times (1 + 0.038 \times \frac{41}{12}) = ¥1,400.99$$

(ニ) 元金¥3,660.00, 利率年5.2%, 期間213日の利息はいくらか。

$$¥3,660.00 \times 0.052 = ¥190.32 \dots\dots 1 \text{ 年の利息}$$

$$¥190.32 \times \frac{213}{365} = ¥111.06 \text{ (切捨)} \dots\dots 213 \text{ 日の利息}$$

1年は365日であるから1年の利息の $\frac{1}{365}$ が1日の利息である。

以上により年利率とは元金に対する1年間の利息の割合をいうのである。

(2) 月利の場合

(イ) 元金 ¥2,500.00, 利率月 0.4%, 期間 5 箇月の利息はいくら。

$$¥2,500.00 \times 0.004 = ¥10.00 \dots\dots 1 \text{ 箇月の利息}$$

$$¥10.00 \times 5 = ¥50.00 \dots\dots 5 \text{ 箇月の利息}$$

(ロ) 元金 ¥830.00, 利率月 0.43%, 期間 1 年 8 箇月の元利合計はいくら。

$$¥830.00 \times 0.0043 = ¥3.569 \dots\dots 1 \text{ 箇月の利息}$$

$$¥3.569 \times 20 = ¥71.38 \dots\dots 1 \text{ 年 8 箇月の利息}$$

$$¥830.00 + ¥71.38 = ¥901.38 \dots\dots \text{元利合計}$$

これをまとめると

$$¥830.00 (1 + 0.0043 \times 20) = ¥901.38$$

以上により月利率とは元金に対する1箇月の利息の割合をいうのである。

○月利 0.5% とは年利何%か。

○年利 7.2% とは月利何%か。

単利法練習問題

日数の計算は片落としとし、1年は365日とし、利息は銭位未満四捨五入せよ。

番号	元 金	利 率	期 間	利 息	元利合計
1	¥ 645.00	年 4%	4 年		
2	¥ 880.00	年 3分	130 日		
3	¥ 1,270.00	月 0.5分	9 箇月		
4	¥ 3,400.00	年 3.5%	3 年 6 箇月		
5	¥ 395.00	月 0.42%	2 年 3 箇月		
6	¥ 8,250.00	年 5.5%	4/10-7/12		

(3) 日歩の場合

日歩とは元金 ¥100.00 に対する1日の利息のことで、たとえば日歩 ¥0.012 といえば、元金 ¥100.00 で1日の利息が1銭2厘のことである。したがってこれをパーセンとで表わせば $\frac{¥0.012}{¥100.00}$ すなわち、0.012% のことである。

(イ) 元金 ¥2,850.00, 利率日歩 ¥0.012, 期間 90 日の利息はいくら。

$$¥2,850.00 \times \frac{¥0.012}{¥100.00} = ¥3.42 \dots\dots 1 \text{ 日の利息}$$

$$¥3.42 \times 90 = ¥30.78 \dots\dots 90 \text{ 日の利息}$$

(ロ) 元金 ¥540.00, 利率日歩 ¥0.008, 期間 210 日の元利合計はいくら。

$$¥540.00 \times \frac{¥0.008}{¥100.00} = ¥0.0432 \dots\dots 1 \text{ 日の利息}$$

$$¥0.0432 \times 210 = ¥9.07 \dots\dots 210 \text{ 日の利息}$$

$$¥540.00 + ¥9.07 = ¥549.07 \dots\dots \text{元利合計}$$

これをまとめると

$$¥540.00 \times (1 + \frac{¥0.008}{¥100.00} \times 210) = ¥549.07$$

○日歩 ¥0.012 は年利にして何%か。

単利法練習問題

日数の計算は片落し、1年は365日とし、利息の銭位未満は四捨五入せよ。

番号	元 金	利 率	期 間	利 息	元利合計
1	¥268.00	日歩 ¥0.013	38日		
2	¥4,660.00	" ¥0.008	6/1-9/10		
3	¥805.00	" ¥0.009	90日		
4	¥720.00	" ¥0.016	3/4-6/3		
5	¥6,038.00	" ¥0.012	10/10-翌2/15		
6	¥550.00	" ¥0.007	109日		

利 息 算 問 題

日数の計算は片落し、1年は365日とし、利息の銭位未満は四捨五入すること。

番号	元 金	利 率	期 間	利 息
1	¥146.00	日歩 ¥0.012	3/5-9/20	
2	¥305.00	" ¥0.008	7/25-9/1	
3	¥4,652.00	" ¥0.015	6/13-12/4	
4	¥574.00	" ¥0.009	10/30-翌2/15	
5	¥816.00	" ¥0.023	12/25-翌5/30	
6	¥1,930.00	" ¥0.017	1/9-4/18	

暗 算 問 題

つぎの日数を計算せよ。ただし1年は365日とす。

番号	期 間	両端入日数	片落し日数	両端落日数
1	1/29-4/6			
2	2/27-6/8			
3	4/5-8/30			
4	6/14-10/2			
5	10/10-翌3/31			

利 息 算 問 題

日数の計算は片落し、1年は365日とし、利息の銭位未満は四捨五入せよ。

番号	元 金	利 率	期 間	利 息
1	¥642.00	日歩 ¥0.016	83日	
2	¥295.00	" ¥0.007	2/7-5/1	
3	¥710.00	" ¥0.023	8/21-10/5	
4	¥868.00	" ¥0.009	104日	
5	¥359.00	" ¥0.008	11/29-翌3/1	
6	¥506.00	" ¥0.012	4/4-6/30	
7	¥481.00	" ¥0.006	138日	
8	¥197.00	" ¥0.0015	10/25-翌1/6	

○日歩 ¥0.025 を月利率および年利率に換算せよ。

答 _____

○年利 5.6% を月利率および日歩に換算せよ。

答 _____

利息算問題

日数の計算は両端落し、1年は365日とし、利息の銭位未満は切り捨てよ。

番号	元 金	利 率	期 間	利 息
1	¥ 825.00	年 5.6%	3年9箇月	
2	¥ 1,406.00	" 3分8厘	6/11-8/6	
3	¥ 713.00	" 4 $\frac{1}{2}$ %	190日	
4	¥ 9,060.00	" 6分7厘	11/2-翌3/7	
5	¥ 858.00	" 5 $\frac{3}{4}$ %	5/31-9/30	
6	¥ 3,270.00	月 4厘	7箇月	
7	¥ 941.00	" 0.52%	3年6箇月	
8	¥ 6,037.00	" 3厘9毛	11箇月	

日数の計算は両端入1年は365日とし、利息の銭位未満は四捨五入せよ。

番号	元 金	利 率	期 間	利 息
1	¥ 246.00	日歩 ¥ 0.013	6/1-9/20	
2	¥ 890.60	年 4.6%	4年7箇月	
3	¥ 4,106.00	" 3分5厘	12/20-翌3/4	
4	¥ 7,090.80	月 0.52%	8箇月	
5	¥ 455.00	日歩 ¥ 0.017	115日	
6	¥ 3,115.00	年 5 $\frac{1}{2}$ %	7/20-11/10	
7	¥ 9,251.80	月 4厘5毛	4年	
8	¥ 710.66	日歩 ¥ 0.012	10/1-翌1/4	

利息算問題

下記各題の合計を元金とし、それぞれの利息をもとめよ。

ただし、日数の計算は片落し1年は365日とし、利息の銭位未満は切り捨てよ。

番 号	1	2	3
1	¥ 102.34	¥ 9.76	¥ 4,868.01
2	589.87	5.59	498.73
3	52.06	1,092.41	5.08
4	6.17	230.15	57.01
5	4,041.38	31.99	47.28
6	463.57	6,281.97	261.17
7	1.02	416.06	860.52
8	548.39	49.68	6.70
9	1,867.27	6.04	9,349.52
10	6.09	612.73	43.52
11	324.25	20.85	873.57
12	25.43	517.68	694.39
13	472.16	75.09	34.50
(計)			
元 金			
利 率	年 6.5%	月 0.4%	年 5.8%
期 間	2年6箇月	8箇月	4/3-8/24
利 息			

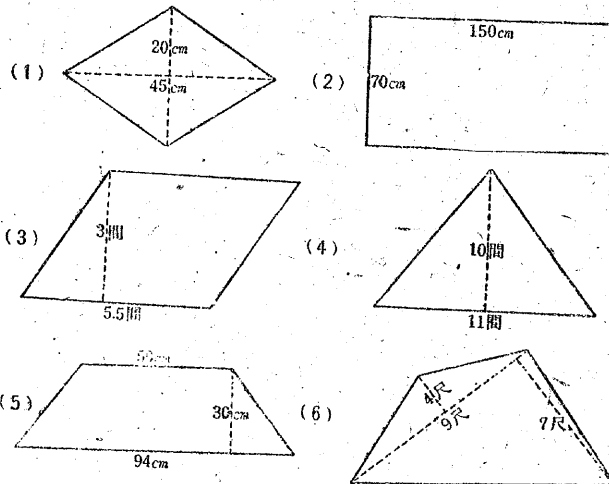
代価計算問題

つぎの#をもとめよ。

番号	品名	数量	単価	代価
1	鉛筆	3ダース7ダース6本	1ダースにつき ¥22.00	#
2	布地(晒)	5反 (1反=2丈4尺)	1尺につき ¥35.00	#
3	塩	#俵 (1俵8貫入)	1kgにつき ¥5.50	¥495.00
4	みそ	60kg	100kgにつき ¥20.00	#
5	消しゴム	#	1ダースにつき ¥32.00	¥3,088.00
6	ハンカチーフ	10ダース3ダース	1ダースにつき ¥13.284.00	#

暗算問題

つぎの面積をもとめよ。



乗法問題

答は小数第2位未満四捨五入せよ。

- (1) $245 \times 89 =$
- (2) $9.613 \times 15 =$
- (3) $548 \times 706 =$
- (4) $7.082 \times 9.58 =$
- (5) $456 \times 3.691 =$
- (6) $302 \times 0.42 =$
- (7) $0.6761 \times 58 =$
- (8) $473 \times 6.51 =$
- (9) $5.396 \times 22.5 =$
- (10) $0.2164 \times 0.508 =$

除法問題

答は小数第2位未満四捨五入せよ。

- (1) $4.956 \div 59 =$
- (2) $7.488 \div 72 =$
- (3) $76.488 \div 24 =$
- (4) $43.596 \div 346 =$
- (5) $140.608 \div 416 =$
- (6) $3.024 \div 0.84 =$
- (7) $39.903 \div 4.7 =$
- (8) $65.93 \div 0.38 =$
- (9) $0.5256 \div 1.46 =$
- (10) $0.520506 \div 0.567 =$

買掛金元帳

下記口座の内訳・買掛金・支拂高・残高欄および繰越金額を算出せよ。

島本商会

昭和 ○年	摘要	数量	単 價	内 訳	買掛金	支拂高	残 高
△ 7	鉛筆HB	157ロフ	27600				
" "	" 2H	367ロフ	25200				
" 15	" 製図用	247ロフ	2640				
" 20	現金拂					4,450.00	
" 26	"					2,376.00	
" 31	繰 越						
□ 1	繰 越						

杉山商会

昭和 ○年	摘要	数量	単 價	内 訳	買掛金	支拂高	残 高
△ 3	毛糸極細	36ロフ	850.00				
" 8	" 中細	23ロフ	61.00				
" "	" 太細	47ロフ	920.00				
" 20	現金拂					38,900.00	
" 24	"					27,652.00	
" 27	小切手拂					10,500.00	
" 30	"					75,190.00	
" 31	繰 繰						
□ 1	繰 越						

加減法問題

番号	1	2	3
1	986.49	921,776.	42,138.16
2	65.75	207,665.	90.60
3	4,567.84	83,192.	629.38
4	671.38	6,279,366.	-297.91
5	780.04	20,917.	63.98
6	5,097.80	106,848.	1,924.29
7	-3,689.26	3,899,156.	3,070.01
8	20.14	14,390.	-59,069.23
9	-893.05	582,855.	-54.05
10	7,911.20	39,432.	76,526.90
11	254.31	818,387.	-416.29
12	-80.24	5,085,149.	69.02
13	-918.56	63,239.	-30,168.33
14	-1,270.39	40,642.	1,901.29
15	963.05	7,623,199.	-232.87
16	-8,707.25	104,830.	62,957.40
17	270.63	9,871,005.	38,790.36
18	-882.14	52,196.	563.74
19	6,941.49	216,072.	-6,935.07
20	78.92	37,589.	503.18
計			

暗算(加減法)問題

番号	1	2	3	4	5
1	803	51	197	634	38
2	52	933	82	21	705
3	614	706	69	507	469
4	97	21	305	93	972
5	246	584	51	46	13
6	13	42	95	815	87
7	79	68	478	39	21
計					

乗法問題

答は銭位未満切り捨てよ。

(1) 325. × 0.12 =
(2) 8.914. × 0.075 =
(3) 826. × 5.81 =
(4) 2.082. × 0.473 =
(5) 3.408. × 0.0605 =

除法問題

答は銭位未満切り捨てよ。

(1) 241.88 ÷ 3.1 =
(2) 335.18 ÷ 0.43 =
(3) 760.80 ÷ 549 =
(4) 49.70 ÷ 0.635 =
(5) 3.95 ÷ 0.0408 =

加減法問題

番号	A	B	C	D	計
1	690	930	8968	34870	
2	5883	12682	10387	6083	
3	18072	7873	3230	218239	
4	543	1047	427154	9469	
5	41427	56526	426	19526	
6	9656	459	628769	147	
7	1539	1634	564	7534	
8	27404	500	9301	328600	
9	210	5417	137407	267	
10	8677	38275	8262	566235	
11	835	9639	45738	78894	
12	429	49282	1592	410281	
計					

暗算(乗除法)問題

(1) 5里を町になおせ	(9) 360分を時間になおせ
(2) 7 "	(10) 720 "
(3) 9 "	(11) 1,560 "
(4) 10 "	(12) 2,340 "
(5) 6グロスをダースになおせ	(13) 260シリングをポンドになおせ
(6) 7 "	(14) 580 "
(7) 8 "	(15) 720 "
(8) 11 "	(16) 940 "

歩合算問題

昭和 22 年度一般会計歳出予算は 2,128 億円である。その内訳はつぎのようである。その金額を計算せよ。

1. 民生安定費	17.0%
2. 教育文化費	2.8 "
3. 経済再建費	24.3 "
4. 地方財政費	9.9 "
5. 終戦処理費	30.2 "
6. 賠償施設処理費	1.9 "
7. 國債費	3.8 "
8. 同胞引揚費	2.2 "
9. 予備費	0.9 "
10. その他	7.0 "

8. 郵便貯金利子の計算

利子計算票																		
記号	いるゆ				番号	37248												
氏名	村岡三郎																	
○年	種	元 金				利 子		○年	種	元 金				利 子				
月日	別	千	百	十	円	十	銭	月日	別	千	百	十	円	十	銭			
4/5			1	0	0	0	0		3/8		1	2	5	8	0	0		
4/10				5	0	0	0		3/12			5	0	0	0	0		
4/15			1	0	0	0	0	2	7	6		1	0	0	0	0		
			1	5	0	0	0	4	1	4		3	2	6				
												1	7	5	8	0	0	
7/14			4	0	0	0	0	8	2	8		1	5	0	0	0	0	
																4	0	
8/19			1	0	0	0	0	1	8	4	0	繰越	1	3	0	8	0	0
																2	0	
9/18			6	0	0	0	0	9	6	6								
1/17			2	0	0	0	0	1	3	8								

この票は貯金局に保管されている。貯金局ではこの票によって郵便貯金の利子を計算する。

郵便貯金の利率は年2分7厘6毛であり4月始めに ¥500.00
預け入れて1年たてばそれは $¥500.00 \times 0.0276 = ¥13.80$
… 利子, となり元利合計は ¥513.80 となる。またこの利
子の計算は月次計算によって行われるから利率は $0.0276 \div$
 $12 = 0.0023$ すなわち月2厘3毛を使う。

前ページの票によって計算を考えてみよう。

この票で氣のつくことは黒記(普通書体)のものと、朱記(か
りに立体で表わす)のものがある。これは黒記は預入れて、朱
記は引出しであって、預入れと引出しは同一の欄に記入されて
いるがこれで区別する。また同じ月のうちに預入れ、引出しと
もそれぞれ2口以上あったときは、それを合計してまとめて利
子を計算している。また利子の銭未満は切り捨てる。

4月預入れ ¥ $150.00 \times 0.0023 \times 1.2$ 箇月 = ¥ 4.14

" 引出し ¥ $100.00 \times 0.0023 \times 1.2$ 箇月 = ¥ 2.76

7月預入れ ¥ $400.00 \times 0.0023 \times 9$ 箇月 = ¥ 8.28

8月預入れ ¥ $1,000.00 \times 0.0023 \times 8$ 箇月 = ¥ 18.40

9月引出し ¥ $600.00 \times 0.0023 \times 7$ 箇月 = ¥ 9.66

1月預入れ ¥ $200.00 \times 0.0023 \times 3$ 箇月 = ¥ 1.38

3月預入れ ¥ $1,758.00 \times 0.0023 \times 1$ 箇月 = ¥ 4.04

" 引出し ¥ $1,500.00 \times 0.0023 \times 1$ 箇月 = ¥ 3.45

このようにして計算された利子は預入れの利子から引出しの
利子を引いて(この場合は ¥20.37)これと元金の残高 ¥1,308.00
を加えて元利合計 ¥1,328.37 が次年度の元金として繰り越され
る。

郵便貯金利子計算

利子計算票

記号	いるゆ	番号	37249				
氏名	村岡良子						
○年 月日	種 別	元 金 千 百 十 四 十 銭	利 子 百 十 四 十 銭	○年 月日	種 別	元 金 千 百 十 四 十 銭	利 子 百 十 四 十 銭
4/5		50000		2/5		85650	
4/13		24000		2/14		31345	
4/20		75800					
4/26		15620		3/3		46550	
				3/20		51230	
6/19		42865		4/1	繰越		
7/22		14190					
9/10		86345					
11/5		73685					
12/21		68940					
1/15		27430					
1/28		45700					

暗算問題

番号	1	2	3	4	5
1	¥ 1.58	¥ 2.47	¥ 1.97	¥ 2.98	¥ 5.01
2	7.39	6.40	4.78	7.46	7.38
3	2.05	5.86	3.59	6.54	3.65
4	3.60	2.83	6.30	3.82	1.74
5	9.14	6.19	5.12	1.05	6.29
計					

利息算問題

下記各題の利息をもとめよ。ただし日数の計算は片落し、2月 は 28 日とし、利息の銭位未満を切り捨てよ。

番号	元 金	利 率	期 間	利 息
1	¥ 817.00	日歩 ¥ 0.008	45日	
2	245.00	" ¥ 0.012	5/30—8/30	
3	3,085.00	年 3.8%	98日	
4	927.00	" 4分8厘	12/10—3/23/5	
5	4,615.00	日歩 ¥ 0.006	1/10—5/4	
6	375.00	年 5 $\frac{1}{2}$ %	203日	
7	190.00	" 4.7%	4年2箇月	
8	2,047.00	月 0.38%	9箇月	
9	623.00	" 3厘	3年7箇月	
10	1,398.00	年 4 $\frac{3}{4}$ %	7/1—12/15	
11	632.00	日歩 ¥ 0.013	188日	
12	4,085.00	" ¥ 0.0085	12/20—3/4/6	

加減法問題

番号	A	B	C	D	計
1	94 56	36 32	786 53	896 43	
2	587 43	95 43	14 24	55 27	
3	176 32	4 76	2793 75	1763 45	
4	4 85	725 10	6 18	674 46	
5	467 21	818 24	624 20	11 27	
6	61 90	4 71	1964 70	4128 00	
7	9 01	81 89	81 82	9 12	
8	76 28	2 50	59 59	178 56	
9	3 59	609 63	1872 60	2 90	
10	298 40	12 10	543 14	813 86	
11	15 70	974 76	108 70	80 75	
12	83 62	8 53	36 53	2,344 03	
計					

9. 割引料の計算

3月31日に支拂われる¥5,000を、3月1日に支拂を受けようとするときには、¥5,000に対する3月1日から3月31日までの利息を、¥5,000から差し引いた残額を受け取るのが習慣である。これを割引という。

この割引において、期日に支拂われる金額を期日支拂高、割引当日から支拂期日までの期間を割引期間、期日支拂高から差し引く割引期間の利息に相当するものを割引料、この計算に用いる利率を割引率、期日支拂高から割引料を差し引いた残額すなわち割引当日授受する金額を現償または手取金という。

割引には眞割引と銀行割引とがあるが、一般には銀行割引が行われているから、これを説明しよう。

例 1. 額面 ¥25,000、支拂期日 8月10日の手形を7月20日に割引日歩 ¥0.012で割引すると、割引料および手取金はいくらか。

割引日数……7/20—8/10の両端入日数 22日

割引料…… $¥25,000 \times \frac{¥0.012}{¥100} \times 22 = ¥66.00$

手取金…… $¥25,000 - ¥66.00 = ¥24,934.00$

(注意) 割引日数の計算は両端入、割引料は銭位未満を切り捨てるのが慣例である。

例 2. 4月2日引受、一覽後60日拂、額面 ¥44,200の爲替手形を4月23日に割引すると割引料および手取金はいくほどになるか。ただし割引日歩は ¥0.023である。

手形満期日……4/2後60日は6/1

割引日数……4/23—6/1の両端入日数 40日

割引料…… $¥44,200 \times \frac{¥0.023}{¥100} \times 40 = ¥406.64$

手取金…… $¥44,200 - ¥406.64 = ¥43,793.36$
つぎを計算せよ。

(1) 下記の爲替手形によって割引料を計算せよ。ただし割引日は10月17日、割引日歩は ¥0.018とする。

第七〇八号	
爲替手形	
金貳万七千參百圓也	
支拂期日	昭和貳拾參年 拾月 拾日
支拂地	東京都
支拂場所	株式会社 東都銀行本店
振出地	東京都
右金額	秋山二郎 殿又ハ其指
図人	此爲替手形引換ニ御支拂相成度候也
昭和貳拾參年 九月 拾八日	夏川武夫 (印)
住所	東京都中央区銀座四丁目五番地
住所	東京都台東区御徒町三丁目二番地
山本一雄 殿	夏川武夫 (印)
¥27,300.-	

(2) 額面 ¥10,000の手形を銀行で割引した。諸条件をつぎのとおりとすると割引料および手取金はいくらか。

手形日附……5/20 満期日……日附後3箇月

割引日附……5/30 割引率……日歩 2.3 銭

10. 賣買損益の計算

ある期の商品勘定の決算高はつぎのとおりであった。賣上代金に対する利益歩合は何ほどになるか。ただし利益歩合は%の
小数第2位未満を四捨五入せよ。

	1	2
当期賣上高	¥ 12,580	¥ 63,200
前期繰越高	¥ 1,235	¥ 3,940
当期仕入高	¥ 10,086	¥ 57,430
商品原價総高		
棚卸高	¥ 1,025	¥ 4,200
賣上商品原價		
賣買利益金		
利益歩合		

5. 標準技能の測定(上級)

青山君たちは、いよいよ珠算の課程が終ったので、珠算標準技能測定問題(上級)をつくって最後の試験を、53ページの中級の試験に準じて行うことにした。われわれもやってみよう。

計算時間 15分

加減法問題(見取り算)

番号	1	2	3	4	計
1	6 12	5 34	23 83	31 80	
2	84 30	64 87	407 09	7,612 74	
3	37 42	58 10	1,247 92	- 84 50	
4	69 89	- 2 36	5 24	691 83	
5	17 85	783 62	6 75	- 8 02	
6	57 27	- 29 25	751 41	6,813 95	
7	509 50	- 40 10	26 80	906 00	
8	7 64	- 293 01	637 41	- 5 92	
9	391 86	- 7 80	3,458 37	- 968 61	
10	3 49	315 64	73 54	- 52 99	
計					

乗法問題(上級)

計算時間 15 分

答は銭位未満を四捨五入せよ。

(1)	¥	72.18×16.5	=	
(2)	¥	38.56×920	=	
(3)	¥	462.79×0.0073	=	
(4)	¥	51.07×841	=	
(5)	¥	527.34×38	=	
(6)	¥	19.63×0.0369	=	
(7)	¥	8.42×5.207	=	
(8)	¥	9.10×47.82	=	
(9)	¥	30.59×941	=	
(10)	¥	84.06×0.605	=	

答の合計高 ¥172,773.21

除法問題(上級)

計算時間 15 分

答は銭位未満を四捨五入せよ。

(1)	¥	$1629.09 \div 207$	=	
(2)	¥	$2759.37 \div 893$	=	
(3)	¥	$0.19 \div 0.0046$	=	
(4)	¥	$180.94 \div 21.8$	=	
(5)	¥	$4668.84 \div 81$	=	
(6)	¥	$1.85 \div 0.0625$	=	
(7)	¥	$3,083.26 \div 4,973$	=	
(8)	¥	$183.33 \div 0.945$	=	
(9)	¥	$485.01 \div 5.706$	=	
(10)	¥	$646.15 \div 301$	=	

答の合計高 ¥429.57

読み上げ速度1秒間に15字

加減法問題(読み上げ算)

番号	1	2	3	4	5
1	462.35	72.64	314.54	154.31	463.54
2	16.48	93.41	53.26	35.28	3801.24
3	4.16	245.86	171.81	604.61	- 28.68
4	31.80	240	36.08	5738.09	- 491.01
5	20.74	-108.71	797.60	801.60	59.60
6	596.12	- 1.06	924.19	86.74	7,297.46
7	9.03	683.92	62.03	7,928.57	- 64.58
8	808.59	- 30.53	47.58	15.39	-1,377.39
9	9.32	- 9.87	509.35	9,647.92	- 809.27
10	75.97	- 57.95	82.97	243.20	512.05
計					

(6)から(10)までの問題は、(1)から(5)までの問題と同じ程度で行う。

K250.66-1-2

395.3-140
~~K250.6~~
K250.6-

中学珠算

下

昭和23年11月30日印刷 同日翻刻印刷
昭和23年12月5日発行 同日翻刻発行
〔昭和23年12月5日 文部省検査済〕

APPROVED BY MINISTRY
OF EDUCATION
(DATE NOV. 30, 1948.)

著作権所有 著者 文部省
発行者

東京都千代田区五番町5番地

発行 刻者 実業教科書株式会社
代表者 水谷三郎

東京都新宿区市谷加賀町1丁目12番地

印刷者 大日本印刷株式会社
代表者 佐久間長吉郎

発行所 実業教科書株式会社

¥20.50

66612

